

⑨除染・中間貯蔵施設について

【会議参加者からの意見】

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2	原発	除染するのはいいが、屋内の外部の除染は完全にできるのか。可能ならば、してほしい。	01福島
10	生活	双葉町は、本当に帰ることができるのか。家の廻りは除染しても、家の中全てが汚染されているのに、帰ってどうして生活できるのか。	01福島
50	今の除染は正しい？	今の除染に金かけていいの？	01福島
52	除染	水で流すだけでは除染にならないんじゃないか。	01福島
55	除染	山の除染はどうするのか？	01福島
57	助成金の使い方	国の助成金は除染に使わず、復興街づくりや被災者に配った方がいい。	01福島
59	除染資金の使い方	除染の資金は復興に向けての資金にまわすべきだ。現時点では意味があるとは思わない。	01福島
85	除染	お金より除染。でもお金も必要。	01福島
88	除染	除染のことは双葉町は考えているのか？	01福島
94	まずは	放射能の完全除染がなければ住むことも復興は出来ないと思います。国と東電が施行することを願います。	01福島
95	願い	仮の町にお金を使うのであれば、除染もしくはみんなに配ってほしい。	01福島
96	除染方法	除染方法の開発を急いでほしい。お金を使ってほしい。	01福島
135	暮らしを始めるには	除染あるのみ！すべて終わらないと始まらない。	01福島
179	除染、インフラ整備、若者の住めるまちづくり	元の双葉町に戻れるように除染作業をしてほしい。インフラの整備をきちんとしてほしい。若者も住めるまちづくり。	01福島
187	除せん処理、安全な生活環境	除染をしっかりとしてほしい。町民全員が安心して暮らせる環境を作って欲しい。	01福島
285	町民の声	除染に力をいれて、新しい町・仮の町づくりの前に早く故郷の復興が先決である。	01福島
302	これからの双葉町	双葉町を最終処分場にして、永代供養料として家賃をずっと東電から払ってほしい。	02東京
311	除染	除染はどうするのか。	02東京
341	原発	中間貯蔵施設を決める前に、最終処分場を決めよ。	02東京
382	復興に向けて	除染は無駄。その分、新しいコミュニティにお金をかけた方がいい。	02東京
390	除染	試験除染を早め実践してほしい。	02東京
392	中間貯蔵施設に関して	中間貯蔵施設を早めに建てて欲しい。処理技術は確立しているはず。	02東京
422	除染	森林除染は、どうやってやるのか。	02東京
499	除染	除染作業についての取り組みを決めてほしい。	02東京
505	中間貯蔵	中間貯蔵施設には反対です。	02東京
508	核廃棄物	核廃棄物のセキュリティ管理。	02東京
509	中間貯蔵	中間貯蔵施設についての話し合いの場がほしい。	02東京
560	除染	除染にお金をかけるなら町をつくってほしい。	02東京
561	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設を双葉町につくってほしくない。	02東京
565	中間貯蔵施設	私も双葉町に中間貯蔵施設をつくるのは絶対反対です。	02東京
571	除染	帰るなら除染してから帰る。帰ってから除染するのはおかしい。	02東京
596	山脈を除染	阿武隈山脈を丸坊主にして除染して欲しい。	02東京
597	道路整備	道路整備（警戒区域内の6号線の除染による）全面開通	02東京
603	除染、インフラ整備	東電内の作業に準じて町内の除染、インフラ整備に着手する。	02東京
631	中間貯蔵施設	今後、中間貯蔵施設も否定しないで前向きにプラスのイメージで受け入れること。	02東京
656	除染	除染が出来ないので帰れない。	03柏崎
692	瓦礫	放射能の高い瓦礫は放射能の高い双葉町に置くべき。瓦礫処理はその地域で処理するべき。	03柏崎
700	中間貯蔵	中間貯蔵施設は放射線量の高いところに作るべき。	03柏崎
729	除染	早く除染作業がしたい。	03柏崎
730	瓦礫撤去	瓦礫撤去も進めたい。	03柏崎
731	明日にでも	明日にでも除染や復旧作業に行く。	03柏崎
765	復旧	警戒区域内の復旧をできるところから進めてほしい。	03柏崎
801	除染	除染しなければならぬが、色も臭いもないので、危険の度合いがわからない。	03柏崎

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
957	農業	jasの有機農業をやった。水、肥料からこだわってやったが除染で一番良い土をとられてしまう。	04加須
969	除染	除染は不可能。	04加須
973	除染	除染の効果は疑問。	04加須
999	除染土の処理	除染土の処理は各自治体ごとに国の責任で。	04加須
1001	除染土	除染土の中間貯蔵は反対。	04加須
1002	除染土の処理	除染土の処理は各自治体ごとに行った方が早く終わる。	04加須
1003	貯蔵施設	中間貯蔵施設や最終貯蔵施設を尾瀬や皇居の前にでもつくってもらいたい。	04加須
1004	貯蔵施設	中間貯蔵施設は必要だから、双葉町のものだけは受け入れなくてはいけない。	04加須
1005	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設は必要。設置できなければ除染が進まない。	04加須
1009	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設は必要。無ければ除染ができない。(双葉町の分についての話)	04加須
1010	原発	除染もコントロールに関してもまだ？マークの原発はだめ。	04加須
1062	除染	子どもがいる人は、除染しても帰らないだろう。	04加須
1092	除染	除染では汚染をすべて消すことは出来ない。	04加須
1127	除染	除染で100%なくすことはできないので、安全ではない。	04加須
1132	戻るということ	福島に戻れば、除染という被曝をすることになる。被曝は避けたいと町長は言っている。そこを信頼している。	04加須
1165	環境	帰るなら除染。	04加須
1206	除染	除染はいつから始めるのか？ 放射線量はどのぐらいまで下げるのか。	05いわき
1217	除染	除染も考えてほしい。	05いわき
1271	除染	除染効果は限定的。	05いわき
1283	汚染物	帰れないのだ！平地にして汚染物を置く、そういうことを認めるべき。	05いわき
1294	中間貯蔵施設	双葉町民がハッピーになるなら中間貯蔵施設、絶対反対ではない。	05いわき
1342	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設はつくるべきではない。	05いわき
1348	双葉に戻るかどうか	基本を決めないと、先にいけない。放射性物質を埋めて、更地にして利用する。	05いわき
1354	汚染水	汚染水は地下に、双葉は海際なので山側に活路を見出す。	05いわき
1387	除染費用	除染費用は多大。それにお金をかけるくらいなら、他に使うべき。	05いわき
1400	汚染物処理	汚染物を置く。双葉町を全部あげるくらいの構想が必要。	05いわき
1411	水沢の山	水沢は裏山。20mの除染で安全なのか。せつかく植えた木を切りたくない。	05いわき
1414	放射性物質	廃棄物、中間貯蔵施設を双葉、大熊に置いてもいいと思っている。そうしないと復興できないし、前に進まない。	05いわき
1494	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設について「多くの町民、将来を担う人の意見を聞かなければ1人で判断できない、進められない」と言う前にアンケートを取ったら良いと思う。	06郡山
1496	中間貯蔵施設	町議会が条件付きで中間貯蔵施設を受け入れる方針を固めたことについて「議論の流れを承知していないのでコメントできない」と新聞で見た。町長のコメントは、国が一方向的に提供していると強調していて、明確な説明になっていない。	06郡山
1516	土地は売らずに貸す	土地の借上げによる中間、最終処分場の建設。売ってはダメ。お金はずっと入ってくるような仕組みに。大金はすぐに消えてしまう。	06郡山
1572	除染について	除染が最後になってしまう。まず、住めるようにしてから。	06郡山
1573	中間貯蔵	仮置き場の方が中間貯蔵。	06郡山
1574	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設が最終処分場になってしまう。	06郡山
1605	除染	2、3日前の記事に、干し柿にセシウムが出ていた。その柿の木は除染したが、高い値で出てしまった。除染は難しい。	06郡山
1662	除せんについて	早く除染をしてほしい。草が大変なことになっているので、田畑等の草刈りもしてほしい。	06郡山
1666	放射能	放射能やストロンチウムを除去する装置がほしい。	06郡山
1715	除染	無駄な除染はするな。	06郡山
1723	無駄のないお金の使い方	放射能を無害化する技術がないのに、今の除染方法で金を使って無駄ではないのか。	06郡山
1761	双葉町のこれから	双葉町を原発の最終処分場にしてほしい。	06郡山
1762	お金の使い方	除染にお金を使うのであれば、賠償に使うべき。	06郡山
1768	提案	中間処理施設は作るべき。これを条件に賠償を早急に！	06郡山
1798	除染	帰れないのだから無駄な除染はしないほうが良い。	06郡山
1878	除染	除染にお金をかけるなら避難者に救いの手を！	07つくば

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1954	除染技術	環境除染学会が昨年あり、福島市内状況、セシウムを取り除く分離技術の発表があった。	07つくば
1960	除染方法の研究	泥とセシウムがくっつく線量が低くなるところに糸口が見いだせるのではないか。	07つくば
1961	除染作業	一回除染して効果不十分で諦めず、年に二回ほど継続して行うべき。	07つくば
1962	除染範囲	道と公共施設ぐらいはちゃんと除染するべき。	07つくば
1963	除染	双葉町は道も除染してない。一時帰宅や資料の回収の際に危険。	07つくば
1964	除染作業の現実	現場の除染作業に加わったが、とても過酷なものだった。東電社員などはもっと過酷だったことだろう。批判するだけでなく、そのようなことも知ってほしい。	07つくば
1967	除染	一時帰宅の時に高い線量の場所に入っているため、道路、墓だけでも除染すべきだろう。	07つくば
1970	除染技術の研究	除染開発拠点が南相馬に。技術研究、世界中で行っている科学技術を進めたい。	07つくば
1977	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設を歴史の一部として自分も考えなければいけないと思う。人里近くにおいてはいけない。国有林。	07つくば
1980	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設について、役場は土地の条件だけでなく人の心も把握して検討してほしい。	07つくば
1983	中間貯蔵施設について	安全であることは分かっているが、今の環境省が言っている立地では人が住んでいる所に近すぎる。嫌がられるだろう。	07つくば
2023	インフラの復旧	交通網を復旧することが急務。JR、高速を早く整備（除染して工事）すべき。	07つくば
2027	放射性廃棄物の処理	町で生じる放射性廃棄物は、町内で処理しなければならないと思う。他の町に頼めない。	07つくば
2089	除染範囲	十万山から海へ向けて除染しなければならない。	07つくば
2111	除染技術研究	積極的に除染技術を研究する企業誘致を図っていく。（先進的技術開発）	07つくば
2141	除染計画	除染は長い年月をかけて徹底的に行い、5～10年の単位で除染効果をチェックする。避難以前の生活に戻るまで粘り強く取り組む。	07つくば
2298	廃棄物処理	汚れた廃棄物をEM技術で少なくする。	08全体
2299	除染について	除染技術の早期確立を！	08全体
2375	中間管理施設について	除染した土は地方に分散するのではなく、福島原発立地地域に埋めればよい。	東京G
2381	除染についての考え方	双葉町への除染は、効果に疑問があるため必要なく、新しい町に対して使うべき。	東京G
2389	除染の限界	除染の限界を感じている、山をいじったりせず、町をつくることに注力してほしい。これは双葉町住民みんなが思っていることだと思う。	東京G
2391	限定的な除染	どうしても帰りたいという人もいるだろう、そのためにどこか1ヶ所を集中的に除染して集まって住んでもらうということはあるのではないか。	東京G
2392	除染はいらない	除染にお金を使わずに、町づくりに使ってほしい。	東京G
2424	除染をしたら？	除染で放射線量自体が下がったとしても、まだ危険な状態の原発が近くにあることには変わりがないので、完全に廃炉になって安心できるまでは戻る気はない。	東京G
2450	双葉郡として双葉市をつくる	双葉郡として「双葉市」をつくれればよい。山を崩して開発すれば除染もできるのではないか。	さくらG
2459	除染は意味がない	除染にお金を使うのであれば、各人に渡した方がよっぽどいい。除染は意味がない。	さくらG
2487	中間貯蔵施設について	中間貯蔵施設は割り切って認めるべきである。そして先に話を進めるべきである。	さくらG
2496	除染について	効果がないなら除染はしない。山を崩せば自動的に除染になる。一石二鳥である。	さくらG
2574	中間貯蔵施設について	双葉町は原発を誘致したのだから中間貯蔵施設の建設も受け入れるべきと思う。	日和田G
2575	中間貯蔵施設について	中間貯蔵施設は6号線の東側に作らざるを得ない。	日和田G
2576	中間貯蔵施設について	本意ではないが中間貯蔵施設を双葉町内にも作らざるを得ない。	日和田G
2577	中間貯蔵施設について	郡山市、二本松市、福島市など高線量のところに子どもが沢山いるから、双葉町にも中間貯蔵施設建設はやむを得ない。	日和田G
2581	中間貯蔵施設について	中間貯蔵施設の設置についても住民の意見調査をしてほしい。	日和田G
2584	中間貯蔵施設について	例えば、「中間貯蔵について」とか具体的なことに絞って話したい。	日和田G
2591	中間貯蔵施設について	中間貯蔵施設を作るか作らないかの決定を双葉町に委ねるので早く決めてほしい。	日和田G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2613	中間貯蔵施設について	中間貯蔵施設が双葉町にできるとすれば、双葉町での生活は困難だと思う。であれば「仮の町はココとココとココ！」と複数箇所決めて早く取り掛かってほしい。	会津若松G
2681	町長への意見	中間貯蔵施設は生涯認めない。精神的苦痛の賠償金35万円を取り下げない。この2つが問題になってさっぱり進まないし、我々には情報がほとんど入ってこない。	北幹線G
2688	中間貯蔵施設について	双葉町では汚染した瓦礫などは引き受けないわけだから、除染も意味がない。これではどんどん双葉町だけが取り残され、そのしわ寄せが町民にかかってくる。	北幹線G
2765	町長への意見	中間貯蔵施設をつくるかどうかは、最終処分場を決めてからでないと決められない。でも、他の市町村にもっていくのは実際困難なので受け入れるしかないと思う。理想論としては町長の意見もわかるが、現実問題、町長に「そうだよね」とついていける人はいないと思う。	南台G
2771	中間貯蔵施設と仮の町	大野と双葉の地名をそのままに、中間貯蔵施設を受け入れて、その代わりに、（新しく作る）町の場所を国に買い取ってもらって、そこに（新しい）町をつくれればよいと思います。	南台G
2831	除染作業	仕事のない人にやらせればよいとはいっても、仕事を失ったにも個々の事情があるから、持ち家のある人とかそれぞれの事情にあった人が仕事にあたるべきと思う。	南台G
2861	井戸川町長についての意見	中間貯蔵施設に関しても、国は最終処分場を決めていない。最終処分場になるかもしれないとの見方もあるので「国ははっきりしないで」という井戸川町長の意見も間違ではない。でもだったら「こうしろ！」という具体的な要望をもっと早く言うべきだと思う。良いことを言って双葉町町民に憎まれては悲しい。	南台G
2894	中間貯蔵施設について	双葉町の土地を国で買い取ってもらい、中間貯蔵施設や最終処分場をつくるしかないのではないかと。双葉町を買い取ってもらう場合の価格は、高速道路建設に係る土地買収の価格というのが目安の一つだろう。	南相馬G
2905	中間貯蔵施設について	中間貯蔵施設も最終処分所もどこかにつくらなくてはならない。他の地域につくることはさらに難しいと思うので双葉町につくることを容認するしかないと思う。	南相馬G
2911	井戸川町長や議会への意見	中間貯蔵施設も認めないでは、国も双葉町を買収できないだろう。井戸川町長の言うこともわかるが、権利を主張するばかりでなく、義務を果たさなくてはならないのではないかと。	南相馬G
2919	最終処分場	最終処分場だって、他に場所はないのだから双葉町につくれれば良い。わざわざ、他の土地を汚染させることはない。	南相馬G
2962	中間貯蔵施設の建設について	中間貯蔵施設については、例えば青森では周囲2キロは居住できないが、双葉町に建設すれば双葉町のほとんどがそれに該当する。先を考えれば20年～30年帰れないと考えているので、中間貯蔵施設の建設は受け入れざるをえないと思う。ただし、補償の条件も決まっていないのに容認するわけにはいかないのだから、まずは補償の条件を示してほしい。	郭内G
2963	中間貯蔵施設の建設について	自分たちの町（双葉町）で出した廃棄物だから地元で処理するのは当たり前だと思う。問題は、中間貯蔵施設建設の是非ではなく、これにかかる補償条件を示してもらいたい。	郭内G
2964	双葉町にある所有物について	双葉町にある家屋の盗難や火事などの管理は、今後の課題になるが、元の所有物に対して全部補償をしてもらえば、全て更地にして除染してもらったほうがよいのではないかと。そのほうが安全、安心で、一つの考え方だと思う。	郭内G
2969	中間貯蔵施設の建設について	中間貯蔵施設については、除染と引き換えに受け入れざるを得ないと思うが、そのための補償（国の買取など）はしっかりしてもらいたい。	郭内G
2970	中間貯蔵施設の建設について	中間貯蔵施設については、全国の問題なので、双葉町と大熊町などに集中したほうがよい。関東だって大きな地震が来ると言われているし、これ以上、放射性物質をまき散らす可能性はなるべく避けたい。	郭内G
2976	双葉町に対する要望	役場機能移転より先に、東電の補償確定と中間貯蔵施設の調査、補償を進めてほしい。	郭内G
2984	中間貯蔵と区域再編	中間貯蔵の問題も、区域再編の問題も、国の計画の見通しが出されていないことが問題である。帰還困難区域を最低5年は帰れないとしても、その先の見通しははっきりしていなかったら何の解決にもならない。中間貯蔵も最終処分場から廃炉までの現実的な計画をしっかりと示されなければ、協議にもならない。	郭内G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2986	ふるさと双葉について	中間貯蔵については、国のしっかりとした計画が出されて初めて判断できるものだが、他の地域を汚染させるくらいなら双葉町におくのも仕方がないと思う。でも、ふるさとは失いたくない。地図から「双葉町」という名前はなくしたくないと思っている。	郭内G
3009	井戸川町長への希望	中間貯蔵施設の建設の是非についても、双葉郡町村会と県、国の話合いでも発言すべきだと思う。	白河婦人会H
3026	中間貯蔵施設について	中間貯蔵施設について、双葉町に建設するのは「やむを得ない」と思う。この意見は、会場全員（20名）が一致した。	白河婦人会H
3027	中間貯蔵施設について	原発反対よりも、双葉町町民がこれからどのように生きていくかを考えてほしい。	白河婦人会H
3035	帰還の可能性	完全に除染ができれば双葉町に戻りたいが、それは不可能だと思う。	埼玉G
3057	中間貯蔵施設の場所	原子炉には、高濃度の放射性廃棄物など色々な問題があるので、近くに中間施設を作るのは当然だと思う。他に運んだらバラバラ撒いているようなものだと思う。	埼玉G
3141	放射能の影響への不安	福島、郡山みんな線量が高い。除染をしているけど、子供がかわいそうだと思う。早く除染して、中間処理場を持って行くべきかなと思う。いつまでやってもまとまらないし。まとまらなかったら、あの福島の子ども達はどうするのか。	埼玉G
3147	放射能の影響への不安	私たちばかりに責任負わせるなど思う。核燃料税は福島県全体に入っていた訳で、福島県でビッグパレットとか会津大学とか、そういうところに使っていた。	埼玉G
3201	帰町について	今いろいろ（除染技術が）発明されているだろうから、何十年後とかには希望があるかもしれない。	埼玉G
3204	中間処理施設	除染したものを保管する、中間処理場を作る計画ですが、今更帰れないところ、やっぱりそこにもっていくしかないんじゃないかと。	埼玉G
3205	中間処理施設	私も双葉町のことを考えたら、生まれたところに置きたくない。でも、先人が東京電力の原発を置いてしまった。	埼玉G
3206	除染	自分にも子供がいたら、守れないと思うなら、やっぱり早くしてくださいと思う。	埼玉G
3207	除染・仮の町	国に見てもらうしかないと思う。	埼玉G
3237	仮の町について	しっかり除染されて、自分の元の町、土地まで帰れるだろうなど思うことがわずかな希望。双葉町の近くに、仮の町ができれば、双葉町に通うことも出来るかなと思っている。少しでも（双葉町の）近くに住めるのであればそれでいい。	埼玉G
3333	除染はやめて生活再建を	今なお放射線が出続けている場所を除染しても意味はない。そこにお金をかけるくらいなら、町民の生活再建に使う方がよい。	埼玉G
3468	双葉町の土地について	町民は他の場所で安心して暮らせる保証をもらった上で、双葉町の土地には放射能汚染物を受け入れる。そういう思い切った取り組みをして良いと思う。	つくばG

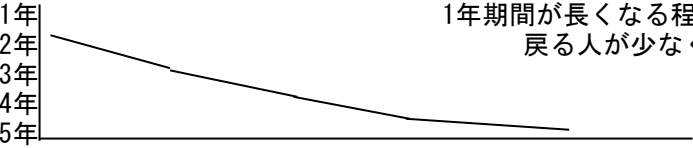
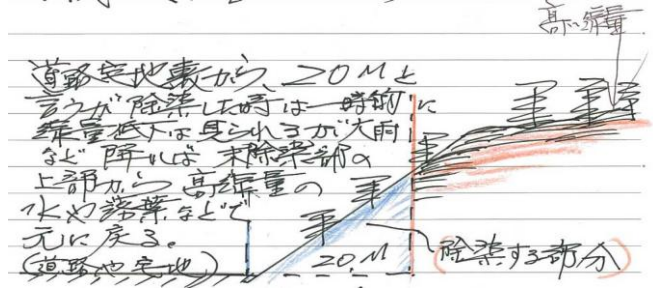
【マイノートからの意見】

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイノート
21	除染について	早く双葉町に帰れるようにして下さい。 他の町村も除染をしているので双葉町もやって下さい。	ノート
25	除染について	何故除染をしないのか、双葉は住めないのか。是非除染をして住めるようにしてくれ。 何もしなければいつまでも帰れない。	ノート
49	除染について	効果のある除染方法について、世界中の知識を集めてほしい。	ノート
68	原発は収束するのか	原発内では、超高放射能のウラン燃料が溶けてむき出しになっている。かろうじて、水を注入して、冷やして放射線量をおさえているに過ぎず、とてもじゃないが、収束していかないのは明らか。溶けた燃料を取り出せるのだろうか。更に双葉町と大熊町を中間処理施設を作り、放射性ごみを保管すること（最終施設をどこにするか決めずにいるのもよくない）。このような環境の中、危険なそばに、帰宅して、はたして生活出来るようになるのだろうか疑問です。	ノート
73	処分場について	安住の地が高濃度に汚染されてしまい、本当に残念で仕方がない。だからと言って、除染されても子供を連れて戻って暮らそうとは思わない。戻って暮らしたい人が沢山いるのは分かるが、中間処分場も最終処分場も東電周辺の土地に造るべきだと思う。ズルズルしていても時ばかり過ぎてしまう。ただ、町長のやっている事に関して理解はできるので、非難はしたくない。	ノート
89	中間貯蔵施設について	今の国内情勢から双葉郡以外の場所で受け入れる自治体はあり得ない。まずは、建設に向けた調査を受け入れるべき。いつまでも拒否をしていては前に進めない。	ノート
90	除染について	今の技術では効果的な除染方法は期待できない。特に山林、農地等が大部分であり、現実的に不可能と思われる。	ノート
91	損害賠償について	国策で行ってきた原子力行政であり、国、事業者は最後まで責任を果たすことが義務である。復興交付金のばらまきが問題となっていたが、帰還困難地域においては、除染についても再検討するなど、費用を無駄にしないためにも除染費用を賠償に充ててほしい。	ノート
102	中間施設について	がれき、汚染土の処理について一時帰宅の度に1年9ヶ月が過ぎても何一つとして処理されずに山となっている光景は3月11日そのままのに悲惨を感じ、取り残された惨酷さを思わざるを得ません。他県にお願いしても住民の反対で成立出来ません。地元で処理して復興が遅れないように一歩でも前向きな環境となることを切にお願いしたい。	ノート
144	除染に関して	各地でも「放射性物質の除染」が計画また、実施されています。そもそも、「除染」そのものが世界で初めて施行されているものです。チェルノブイリでも、原水爆実験場となった南太平洋の島々でも行われていません。行われているのは「住民退避」だけです。放射性物質が安全な物質に崩壊するまで待っているのです。世界で初めて行う「施術」をごく短い時間で見つかること自体が考えられない。 「除染」された場所の数値を見ても、50~70%減と公表されています。双葉町の場合はそんな数値では話になりません。桁を1桁、2桁下げる必要があります。 この国で行おうとしている「除染」は「研究開発中」と見るべきです。このような不確かな施工技術で「除染完了」を待つのは若い人であればまだしも、70歳に届こうとする自分にとっては「待つ時間」がありません。他の場所で「残された人生を有意義に過ごす」方法を探ります。	ノート
167	個別のことについて	(1)双葉高校を存続させること。 (2)墓地の復旧と今後の維持管理。 (3)新しい避難区域の指定に当たっては放射線量だけでなく、原発からの距離も勘案すべき。 (4)医療施設は震災以前の水準（厚生病院）を確保するよう関係者に強く要請すべき。 (5)仮の町の構想は、設置数を可能な限りしぼること。 (6)中間貯蔵施設は慎重に考えるべきだが、復興を進めるためには避けて通れない問題であり「自分の町だけは認められない」ということは通らない。最小限、条件を付すなどして受け入れを容認せざるを得ないのではないか。 (7)若者の雇用の創出は極めて重要である。企業の誘致について国県とも十分協議して積極的に進めてほしい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
168	中間貯蔵施設について	<p>中間貯蔵施設については、震災の復興にとって避けて通れない問題である。「他の町村に設置するのは良いが、自分の町への設置は認められない。」との考えは、郡内町村との協調路線に反するし、双葉町だけが孤立してしまう恐れがある。新しい施設をつくるというよりは、不幸にして起きてしまった震災の復旧・復興のためのなくてはならない施設である。改めて考え直すべきではないか。しかも現時点では、現地調査について協議している段階であり、12/11の新聞※で報じられている町長の発言は、少し軽率ではないか、町長としての発言であるだけに、誠に残念である。</p> <p>※「中間貯蔵施設は生涯受け入れられない」との発言は、郡内8町村、さらには国・県などと現在協議中であるにもかかわらず、このような発言をされるのは、今後に余り良くない影響を及ぼすことを懸念する。</p>	ノート
185	仮の町について	<p>除染方法の開発をして除染に力を入れてもらいたい、故郷に戻りたい、仮の町をつくるより、現状で戻れる日を待ちたいと思います。帰れる工程表を早く示してほしい。</p>	ノート
186	中間貯蔵施設	<p>中間貯蔵施設は放射線量の高いところに作れば良いと思っていましたが、環境省では候補地の地質調査をすることをしていますが「造成済の土地で工事が容易」とか「工業団地の建物が活用できる」とか選定理由を示していますが、建設する気満々でいるように見えます。双葉町の方だけはしょうがないですけど、あとの物は国有林、県営災害公営住宅に当たって500戸のうち郡山市と会津若松の両市に120戸程度ずつ建設する方向でいるようですが、後のことは何も話ありません。</p>	ノート
192	除染について	山の方の暮らしなので、森林など完全除染。	ノート
211	除染について	除染の作業は何時から始まるのか、期間はどの位で終わらせるのか。	ノート
220	双葉町の今後	<p>テレビのニュースでは、どの町でも役場を人口が多く住んでいる町に、役場を新設し、住民の声を聞いて助ける様にとの事だった。また、戻った村では住民の雇用を考えて、会社を受け入れた様です。双葉町はどうなっているのか？除染しなければ何も進まない気がする。除染しても何にもないという人もいますが、やってみなければ分からないと思う。1日も早く戻りたい。</p>	ノート
224	皆で話すこと	<p>地区の人からあだたらに行き行ってケーブルカーに乗って山の紅葉を見に行こうといわれ、あだたらへ行って久々に逢って楽しく昼食食べて、途中できのこを買って、皆と別れてきました。話は、これからどうなる？どうする？早く町の考えをはっきりしないと動けないとの事、もっと住民（町民）を町民と思い、早い復興を、除染をしてほしい。除染をして町を分別しなければ何も進まないと思う。</p>	ノート
262	双葉地方と双葉町の未来について (1)除染	<p>除染は春、秋の時期に継続的、断続的に年2回、公共施設、道路を中心に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春は3月～5月、秋は9月～11月、野外での労働環境を考慮して実施する。 ・都度効果確認の為、測定データはデジタル化し、インターネットでの情報公開を行う。また、業務内容も同じく、文書及び映像にて情報公開する。 ・町、福島県、国は、除染に関して、情報の一元化を行い、併せて除染業務に関する事について、広く相談窓口を設け、雇用、安全性の推進、業務効率化を計りつつ、除染業務の積極的な推進を行う。 	ノート
263	双葉地方と双葉町の未来について (2)中間貯蔵施設	<p>中間貯蔵施設は、人里離れた川内村・浪江町津島の国有林を中心とした地域に作るべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の候補である浜通り町内の地域は、あくまでも仮置き場とする。 ・福島県内外からの汚染廃棄物を2年以内に仮置き場に移動する。 ・この2年の間に、川内村及び浪江町津島への中間貯蔵施設の調査と設計、そして建設の準備を行う。 ・同時に、5年間で建設施工を行う。 ・併せて、同時に仮置き場での廃棄物の減容化を行い、5年後の中間貯蔵施設への移動準備をする。 ・中間貯蔵施設は、200年は維持運営できるものとする。 ・30年以内に県外に移動することは撤回すべきである。 ・廃棄物は、最終処分場に移動する為に減容化する。 ・併せて、濃縮化を行う。 ・これらのことは、中間貯蔵敷地内に減容化プラント、濃縮化プラントを作ることを意味する。 	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
264	双葉地方と双葉町の未来について (3)最終処分場	最終処分場は、200年以内に国際協力の下に、月の南極付近に埋没する。 ・2020年に、国際協力のもとに月に基地ができる。（アメリカNASAが発表） ・以後、月面地殻調査を行う。 ・チリでの落盤事故があったうえ、日本は地震国家で、地下埋没が難しくなった。 ・高濃度廃棄物を埋没後、取り出すことが容易であることを前提とするならそれは、まさしく中間貯蔵施設と定義した方が妥当である。 ・月への搬送手段として、大気圏外の衛星静止軌道上まで、宇宙エレベータを使う。 ・静止軌道上には、集約倉庫としての中断保管施設を作る。 ・中断保管施設から月への埋没は、できるだけ無人化作業とし、ロボットによる遠隔操作を行う。 ・月では埋没した廃棄物は、エネルギー源として再利用する。	ノート
265	仮の町と除染	仮の町を作るのか、除染して双葉に帰還するのかの二者択一ではなく、どちらも強力に進めることが大事。どちらか...ということでは争うべきではない。	ノート
281	除染について	お金を莫大にかけてやっても、どの地区も6割は山なのだから住んでる所をやっても意味を感じない。高い所から低い所へ水も流れず、風は原発からも吹いてきます。	ノート
282	そもそもの順番	原発 ・目視可能な状態になる（現状の確かな把握） ↓ ・政府からの指針、廃炉工程発表、除染計画 ↓ 予算を出す（莫大な金額） ↓ むしろ立入禁止にして、時間が経ったら中間貯蔵を移す頃に除染した方が？ 町民 ・町民として残る意志表示 ・仮の町（県内なら手を上げてくれる地域を県を通じて行う） ・町民間でのアンケート、協議 ・仮の町の決定（除染等を見ながら） ・帰る、帰らない 決める	ノート
310	避難生活が長ければなる程戻る人が少なくなる	避難して1年半いわき市周辺では土地買いが進んでいるという。土地は買っても東電の不動産賠償を貰わなければ家の建築費がないと聞く。いわき市は土地も高いという。先々の見えない今、土地買いの完走に走るのもどうかと思う。 双葉町としても今後五年後、線量の低い所を住宅地として、一人でも多く戻れるよう今から対策しなければならないと思う。 やはり除染をして低くて住める所、線量が高くて住めない所を早めにはっきり決めなくてはならないと思う。	ノート
312	近頃考える 除染の問題	・除染作業をすればもどれるのか ・放射線量が、人々が戻って安心して生活できる線量まで下がるのか ・庭先などの草木は除染作業の中で片付けるのか ・農地の草木も除染作業の中で片付けるのか ※戻る1年以上前に除染をして、戻る1年間は自由立入り（南相馬市）の様に立入りを自由にして家の内外の片付けをする（期間一年） 4年間 避難 (除染) 5年目 自由立入り (家の内外片付け) 6年目 戻る 入居 住居の修理片付けなど	ノート
314	飯館村 9/2TV. 避難区域解除合意至らず	いろいろと考えれば、わが双葉町も飯館村より原発に近い。 6年過ぎても戻って生活できないのではと、そんな事も考えられる。 除染をして戻れるかが問題だ。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
315	避難して3年後借上げ住宅は	<p>避難して3年後。仮設住宅、借上げ住宅は3年まで。今後5年間戻らずの話 を聞く。この3年以後の住宅の問題、これからも延長して住めるのか。 双葉町がいわき市に役場移転。町民はいわき市へ移動。「仮の町」町民 の住まい。 我が家には戻れず家族はバラバラ。 借上げ住宅や仮設に住めなくなった。 避難先で自分の家を持つようになったら、双葉町民も戻る人は少なく なってくる。3年後も借上げ延長をしてほしい。 一日も早く除染を、除染をしてもダメなら戻る事もあきらめる。 今の子供達が県外で学校を卒業し県外に就職すれば、若い人達は戻らな い。全損賠償になれば土地や農地を見捨てて住まいを郡外、県外に移住 する様になる。双葉町も草木の生え茂ったその中に住む事は出来ない。 戻らない人の屋敷、田畑は草ぼうぼうで、誰も他人のものの草を刈る人 はいない。それがこわい。20戸の部落が5戸、7戸と移住すればその部落 は自然に廃家が増えて住む人が居なくなるのでは… 今は戻りたい、帰りたいとの気持ちは5年も避難していれば薄らいでく る。私はそれがこわい。 安心して住めなければ必ずこうなる。1戸2戸頑張っても自分の財産の田 畑だけでいっぱいなのに他人の住んでいない人達の財産までは 手が廻らない。水路の草刈り、堀上げなどやれないと思う。地主不在が こわい。</p>	ノート
318	10.7 民報 「仮の町」にも法の壁	<p>避難者受入れに対し土地や行政サービスの問題 集中型の「仮の町」を作るには土地の問題が生じるという。 我々避難者は何処へ行けばいいのかわからない。やはり「仮の町」はム リか。仮設・借上げ住宅3年間といて、今だに何も進まない。 6年避難していたらどうなる。 帰る人も少なく、国も除染して早く。 一年でも、早く戻す事も考える。 全損賠償というけれど、国や東電は全損補償するお金があるのか。 やはり一に除染二に除染で事を進めなければ、ダメだと思ふ。 60% 80%の賠償でやむをえない。期間が早ければ戻る人が多いと考 える。 東京電力も賠償よりも廃炉が大変だ</p>	ノート
324	最近、原発災害も何か 「対岸の火事」そんな 感じがする	<p>除染も進まず先々が見えない。 一年前は”絆だ 結びだ 頑張ろう”とか言われましたが何か薄らいだ 感じ。 我々避難民の事が忘れられてきた。 中間貯蔵置場も従えば その近くに住む事も出来ないだろう。その施設 ができれば、それから離れなくてはならない距離 道路、交通、施設が 出来る地域に住んでいた人達のこれからの住まい 立入り禁止……。 施設のできる地域の人達の賠償問題 以前までその地域に住んでいた人達の生活保証と、考えればきりがな い。 強制立ち退きになると思う。 30年も処理にかかれば、誰もが反対は本心だ。 地域同志の隣人愛でお互いささえられて生きてきた事を思い出す。</p>	ノート
325	一歩も進まない除染	<p>技術的にも少ない除染の方法 明日の見えない 日々の生活</p>	ノート
327	郡山市駅前広場と於い ての芸能まつりにて (双葉町郡山地区の人 達との旅館宿の中で)	<p>(これから5年後双葉町へ戻れるのか。そんな事の話をした) 現在、除染もしてないのに戻る事は不可能だとの言葉。 やはり一度、除染をして人が住めるのか試してみなくては… 5年過ぎれば、双葉の住民は3割も戻らないだろう。 老年の人々はなくなり、若い人達は安全を求めて、他の地へ就職して住 む様になり、帰る事も忘れてくる。 中間貯蔵施設が出来れば、その様な状況がもっと増すだろう。 この世に安全、字はあっても絶対安全、安心などない。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
329	森林の除染 間伐、伐採でやるとい う	<p>道路宅地敷から20mと言うが除染した時は一時的に線量低下は見られるが、大雨など降れば未除染部の上部から高線量の水や落葉など元に戻る。（道路や宅地）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこまで低くなるのか！ ・田畑も除染してどの位下がるのか！ ・でも試験的にもやって見なくては何もわからない。  <p>避難生活と帰還者数</p> <p>1年期間が長くなる程 戻る人が少なくなる あの荒れ放題の地元へ戻って生活ができるか！</p> 	ノート
333	6巡りの帰宅	<p>あの荒れ果てた家屋敷、田畑の姿。本当に元の姿に戻せるのか。近頃そんな事を考える。あのセイタカアワダチ草、2m近く延びている。あの繁茂ぶり、これから2年、3年、4年が過ぎたならどうなる。双葉の地へ戻ろうと思う考えも変わってくると思う。</p> <p>双葉の地へ戻る人もこれから1年で1割減、2年で2割減、4年過ぎれば4割減、6年過ぎれば6割以上が戻らないだろう。7,000の人口の「双葉町」も6年後戻る人も3,000人弱では、「双葉村」になってしまう。</p> <p>いかに一年でも早く戻れる様にしなくては、と考える。除染を急がなくてはならない。早くやらないと戻る人が居なくなる。</p>	ノート
334	東電の福島復興本社	<p>双葉地方に広野火災発電所がある。福島県へ「東電福島本社」を建てるなら広野町か楢葉町へ建てるべき。</p> <p>双葉、大熊、富岡の第一と第二は廃炉すべき。</p> <p>これからは海岸線に風力発電が設置されれば良いと思う。</p> <p>発電所は福島、本社は東京では、離れていては何かと不便。目の届く所にあるべき。</p> <p>福島県には水力も火力の発電所もある。</p> <p>線量が少し高ければ除染せよ。</p> <p>双葉郡地域を復興させる手立てはこれしかない。</p>	ノート
335	中間貯蔵施設	<p>双葉町の場合地図で見ると、双葉の工業団地と運動公園の付近か細谷地域。何時戻れるかわからない場所に。また、線量の高い廃棄物を置く。除染の技術もないのに、山と積み置くだけか。今、思うのは除染の技術だ。除染の方法もわからない現在、集めて置いても、山置きするだけ。先に除染の方法を見え出さなければだめだ。</p> <p>処理の出来ないゴミ置場にならない様に……しなければならぬ。</p>	ノート
336	今日の集まりの中で	<p>線量が高く、双葉町は戻らないと話を耳にした。なぜだ。線量が高く下がらないという。5年過ぎてもダメという。山や沢の高線量が雨で流出し除染しても元に戻るという。山も川も田も畑も完全に除染しなくては、戻るのはムリとの話。</p> <p>若い人達や学生、子供が戻らなければ、双葉町は終わりになってしまふ。一日も早く除染をして先に見える地域にしなくては。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
340	きれいに刈り払った水田を見る 小高区神山地区	父の命日（11月〇日）に墓参 白河市～福島～南相馬市、小高区を通して墓参。その中小高区の神山の地区がきれいに水田の刈払いをしており、あのアメリカセイタカ草は刈られていた。 部落民が出役しトラクターにつけた刈払い機で刈ったという。水田の入口や畦畔草刈機で刈り、水田の平らな部分はトラクターで刈る。 来年度、米を作れる訳ではないが、刈払う事で大きな草にならないという。 この刈払い作業をすることで線量の低下も進むような感じがする。 やはり、双葉も一日も早く除染して、住むまでは出来なくても小高地区のように、朝入って夕方は出る。そのような姿になるように。やはり除染を早めなければならない。 除染して出入口が見えても、戻って住むまでは2年以上かかると思う。	ノート
342	中間貯蔵施設と立入禁止そして「住宅」	中間貯蔵施設予定地近くには6号国道あり、常磐線あり。この施設を作ったために6号国道、常磐線に影響はないのか。30年も経て処理というがこの施設の近く住む人々の「住宅」を一早くはっきりしなくてはならない。住む所がなくては誰も「ウン」とは言わない。	ノート
343	これから5年後、戻れるか	最近そんな事を考える 「民報」に大熊町区域の線引き やはり除染をして戻れる状況になるのか、除染をしても戻る事が出来ないのか。一度やってみてはどうか。そんな事を考える。5年後、6年後戻ると言う話もあるが、6年後ボンと戻るとは思わない。 隣組の人が体調を崩したとの話を聞く。以前俺は10年は帰れないと言った人だ。線量が高い地域、除染して線量を下げ戻れると言う夢、希望を持てる様にしてほしい。 死んで故郷へかえるのか。 一度除染をして結果を見てはと思う。	ノート
345	民報 富岡町も線引きか	新聞を読むと富岡町の警戒区域も区分けされるという。富岡駅前などは線量が低い。夜の森駅の北と南、東は高いという。でも低い所は何か少し前が見えるように感じる。低い所は出入りが自由に出来る。それによって少しずつ家の中を片付けられる。家の中は誰も片付けてくれない。家の中は自分で片付けるしかないと思う。 双葉町も除染先行だと思う。双葉町に帰れなければ何処へ住む。 夏は涼しい青い海がある。 冬はあまり寒くない。雪も少なく、避難して初めて知った故郷の良さ。白河は寒い。	ノート
350	除染と働く場所	戻るには役場、学校など公共施設の除染が先決だ。 遊園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、駅、病院の除染と安全安心だ。 今の子供達が戻らなければ双葉の将来は何もない。大切なのは、どうしたら避難した子供が一人でも多く戻ってくれるか。これが課題だと思う。 子供達の少ない町は進展がない。何仕事でも良い、若い人達はどうしたら戻るのか。働く場所（会社、工場）を何かの特例をもって誘致しなければ若い人達は戻らない。 戻る・戻らないに関しては、これが一番だと考える。	ノート
371	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設ができると双葉町がどうなるのか正直見当がつかない。施設のまわり数キロは汚染のため立入居住不可とでもなるのでしょうか。中間が最終処分地にならないようにとの話もありますが、大熊双葉は日本の中で放射能汚染が最も高い地域であれば、中間であれ最終であれこの地に処分場を造るという判断は至極当然のこととも思える。	ノート
373	貯蔵施設の受け入れ	個人的には中間貯蔵施設の受け入れもありと思う。受け入れるなら補償などをより多くいただけるよう交渉いただきたい。補償が多ければ、自活資金が多くなり歓迎できるし、貯蔵施設がもし危険なものであれば半端な避難指示解除もないだろうと思うからである。	ノート
377	双葉の復興は望まない	双葉町の復興など望んでいない。時間が経つにつれ、また、井戸川町長が様々な会議を欠席するたびに、この思いが強くなっていく。双葉町全体を国に買ってもらい、国営化し、中間貯蔵施設や除染した廃棄物の置場にしてもらうなど、双葉町周辺の市町村（双葉郡）の復興や福島県全体の復興の役立ててもらった方がいいと思う。	ノート
424	廃棄物処理について	危険な廃棄物を税金をかけて他の地方に移動していく事自体、無意味な気がします。ただ危険なものをまき散らすだけで迷惑な話であり、やがてその為に私達が肩身の狭い思いをしないだろうかと考えてしまいます。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
425	責任 ところで生活してきた私達	原因は東電にあるけれども、私達の責任ではないのだからと責任逃れをしていいのでしょうか。ところで生活して来た私達に拡散してはいけないという義務はないのだろうかと考えてしまいます。	ノート
438	中間貯蔵施設について 本当に議論すべきことは「原発事故が起きてしまった双葉地方が最終処分場を受け入れるかどうか」	いわゆる「中間貯蔵施設」の会議についての私の考えを述べます。第1に「中間貯蔵施設」の会議に町長が欠席し続けるのは得策ではないと思います。出席し、他の首長やマスコミに対し、「中間貯蔵」という言葉が真実であると論理的に証明できないのだ、ということを引きちんと訴えるべきだと思うからです。11月に町長が国に質問した回答の中で、双葉町が「中間」貯蔵施設を受け入れなければならない理由は、「線量の高い地域で発生したものを線量の低い地域に運び込むことは困難である」からと明確に記しており（環境省小林局長名）、この理屈と「最終処分場は福島県外に設置する」という約束は完全に矛盾しているのです。この矛盾を放置したまま「中間」貯蔵施設の設置の議論を始めることは、双葉町はじめ3町にとっては致命的な誤りであると考えます。しかし、現実には双葉町を除いて議論が開始されようとしています。国があくまで「中間」貯蔵施設と言い張るのなら、線量の低い地域に最終処分場を作る理由を明確に示してもらわなければなりません。本当に議論しなければならないことは、「原発事故が起きてしまった双葉地方が最終処分場を受け入れるかどうか」ということなのです。国民は岩手県のガレキさえ、受け入れるのを拒否しているのが現実です。前述の回答の中に30年後の姿については「現時点では明らかにしがたい」と述べています。なしくずし的に、そのまま最終処分場化することは、可能性の高いことだと思います。国は交渉の相手は小さい方が有利だと考えているはずで、双葉町だけで戦っては不利です。仲間を集めるべきだと思います。今の状態（分断されつつある）は敵（国）の思うツボです。それゆえ、他の首長と真剣に話し合っ、共同で、国と交渉してほしいのです。	ノート
440	町の将来性	いわゆる「除染」と町民の将来について。国の「除染」するからいずれ元の場所へ帰らせてやるという方針は住民の生活を無視しています。子供等若い世代が戻らなければ町が成り立たないからです。このような町の将来を描けない状況に陥れた東電と国に要求していただきたいことは、「それぞれの町民の選択を保障」して欲しいということです。	ノート
504	放射線量と除染	新聞などでみると自宅付近の放射線量は、徐々に減ってきている。国は、年間20ミリシーベルト以下であれば、帰宅可能というがホットスポットがどこにあるか、実際に測定してみないと納得できないし、測定機器自体も信用できないところがある。放射線量と言っても、セシウムだけを問題にしているが、もっと恐ろしいストロンチウムやプルトニウムがどれくらいあるのかが問題だ。早く国で除染をしてほしい。近隣の町は進んでいるのに、双葉町は遅れているのか。うわさでは、町が除染を断っていると聞いたが、そんな事はないはずだ。一次帰宅の時、草がおいしげり、車も傷ついてしまった、墓参りもできず遠くから手を合わせた。国も県も町も、国会議員も県議員も町議もなんで、除染という初歩的な事を進めないのか。	ノート
505	不動産の賠償と中間貯蔵施設	国と東電が示した、不動産の賠償基準は、とても納得できるようなものではない。枝野経済産業大臣は最低基準だからと言ったが、東電はこの最低の賠償で済まそうとしている。私の自宅は築29年経過しているの、1,100万円ぐらいになると思うが、この金額では、新たに家を建てることなどできない。土地も求めないといけなからだ。もし今のアパートに20年住んだとしたら、アパート代は1,759万円かかる計算になる。しかし大熊町や富岡町は、この基準で承諾したようだ。5年間は、町に戻らないことで、町民同じく5年分まとめて、賠償されるようになった。これは国や東電の思うつぼにはまってしまったと思う。本当は中間貯蔵施設の設置と賠償問題は、切り離せないものだ。町民にとって一番重要なことだ。ばかをみるようなことは、絶対にしないような合意をしてほしい。	ノート
528	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設の建設については出来れば我が町には造ってもらいたくないが、しかし現在建設場所はいずれも原発のある所に予定されているようです。また、現在除染している町村、これから除染をする所、考えれば気が遠く成る様な事です。もし双葉町に施設が出来た場合と出来なかった場合、何年双葉町に住む事が出来なくなるのか？ 誰にもわからないと思う。	ノート
529	中間貯蔵施設	11月20日、福島民報の記事の内に川内村、葛尾村に中間貯蔵施設の建設候補地としての地質調査といった記事がありました。やはりこれから先、除染物の置場に対して考えなければならない重大な事と思う。早急に双葉郡8ヶ町村、県、国と話し合い結論を出してほしい。	ノート
540	除染への疑問	除染の効果は不可能（なぜなら100%除染できないからです）。	ノート
556	除染	双葉町だけなぜ除染に着手しないのか、せめて除草（お墓）をしてほしい。年数がたつにつれ、狭い道などは車が入れなくなってきています。他の8町村との足並みをそろえてほしい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
573	除染は日々必要なのか？	先日(12/9)に一時帰宅したがあたり一面荒れ放題…それを目にしていると、戻れる気がしない。日々除染は必要なのかという想いが強くなる。	ノート
582	除染	除染を早くして帰してほしい。	ノート
584	除染	除染方法の開発を急いでほしい。	ノート
596	道路整備	道路整備(6号線の除染)全面開通。	ノート
606	避難民の年末雑感	1年10ヶ月は過ぎたが故郷双葉は避難当時と全く変わっていない。ネズミだけが繁栄している。思い起こせば3.11当初の国の対応は全く信じられない位の出鱈目さであった。避難指示そのものも、段取りの悪さ、自分等(国、政府の要人)がパニックしてるので必要な対応もとらず、避難で何人の人間が命をおとしたのか!!菅、枝野の名前を聞くたびに、人間としてどう受け止めているのか知りたいものだ。当局もこれまで100億円を超える原発交付金を受け取っているが、はたして相双地方の振興にどれだけ力を入れたのかと思う。中通り会津地方には片側2車線の国道、高速道路に新幹線に加え、波に立たない滝まで整備を行った。相双地方はJR単線、6号線は片側1車線、町内の県道は雨が降れば通行止めとなる。こんな状態で相双地方を軽んじて来た県が原発云々を言う資格はないよ。復興より復旧を急ぐべきである。今だにJRは不通。除染を行い、早く再開させて、地域復旧に資すべき。道路(国道、高速)の整備を急ぎ、いわきから仙台方面と結ぶようにすべき。(放射能除染を含めて)	ノート
608	先に進める	相双8ヶ町村の町長さん達はそれぞれの考え方が異なり統一した方向が今だに示されていない。国、県、東電に対抗するには8ヶ町村の力を束ねないと負けるよ。わずか20km ² の地域で地域エゴにおちいっては出来ることもできない。いっそのこと合併したらと思うよ。3本の矢の例えもあるぜ!! 中間貯蔵施設についても我が町のゴミを他の町になんて考えられないよ。必要なものは早く作って、先に進めると言いたいね。	ノート
610	中間貯蔵施設	普段は山や野原にいる野ネズミが我が家に住みついてしまった。布団の中が台所の食物庫に安住しているのは困ったものだ。結局、家のゴミの始末が出来ないことがこんな事態を招いているのだ。ゴミが片付かないのは中間貯蔵施設がないからです。町民エゴを捨てて、早く施設を作り、ゴミのない町に。双葉町内の家庭ゴミも落葉も全て中間貯蔵施設で保管することになる。量を減らすために大容量の焼却施設を作る必要もあるよ。町ごとに焼却施設を作る必要はないので共同施設として、焼却エネルギーを活用することも考えないといけない。	ノート
622	要望_除染をすることが基本	原発が真に収束し放射能の心配がなくなれば若い世代、子供達は帰って来ない。現在の状態では夢物語だ。学校も教育も双葉町では成り立たない!早く中間貯蔵施設をしっかりと作ることだ!!除染をすることだ!!それが基本だ!!	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
629	提言	<p>しかし愚痴ばかり言っても前進はありません。そこで私と妻〇〇は二人で提言を致します。</p> <p>①東京電力第一原発の真の収束宣言！！最も大事なことはこの真の収束宣言です。これが解決出来なければ町民は安心して戻ってこれません。国、東電は加害者です。私達は何も悪い事はしていません。各国の力なども借りながら全力をあげて真の収束を一刻も早く実現して頂きたい。</p> <p>②双葉町が元通りに町民が戻れるには・・・。現在、町長、町議員が仲違いをして揉めております。今このような大事な時期に一刻も早く止めてお互いに力を合わせてやっていくべきではないでしょうか。町長は双葉郡内の町、村長との関係、国、県との関係にも車し車楽があります。町のトップがこれでは町美人は不在。早く、関係諸機関と和解し、町民のため双葉郡内のため、施政を行って頂きたい。中間貯蔵施設の問題も郡内各町村長と仲良く話し合いベストの方法で決着を図る。私達の意見としては各町村の放射性廃棄物は自らの町村で中間貯蔵施設を作る以外に方法がないのではないかと考えます。これが決まらなると先へ進めません。</p> <p>③我々の次代を担う若い世代の方々が安心して戻って来て頂く為には放射能の心配のない住環境を作ること。そのためには前述の通りまず真に原発の収束宣言を国ですることとあります。それからインフラの整備、そして全ての社会基盤の整備であります。例えば役場、役所、学校、病院、働き場となる各企業、団体、諸機関、商店外商業施設、アミューズメント、公園等々であります。</p> <p>④双葉郡内を二つの町（または市）に統合する案。一例として下記に分ける。</p> <p>a、仮の名称 北双葉町または市（浪江町、葛尾村、双葉町）</p> <p>b、仮の名称 南双葉町または市（富岡町、大熊町、楡葉町、広野町、川内村）</p> <p>上記に統合した町または市を作る場合、放射能セシウム数値の低い所で都市機能が充足出来る場所を選定する。郡民が先祖伝来の土地を離れ大移住をするわけだから皆様の財物を東電、国はしっかりと賠償する。上記案にすると行政、諸機関はかなりスリム化される。しかし働き場の確保も大事な条件になるはずで。この案は10年～15年程度で達成する。</p>	ノート
640	提案__廃棄物を受け入れる	<p>検査して放射能がついてないとされるガレキさえこの県でも受け入れ拒否されています。双葉町だって同じでしょう。双葉町にガレキ運んで来て良いかと言われれば反対するでしょう。逆に双葉町、大熊町のガレキなどどこが受け入れてくれるのでしょうか。原発周辺から出たガレキは双葉大熊ここから外に出してはいけないと思うのです。みんなが貯蔵施設を反対していたら、福島復興は出来ないと思います。悲しく悔しいけれど、お国のため、県民、町民のために貯蔵施設を受け入れなければだめだと思えます。双葉町大熊町が原発廃炉にするための施設を作る場所としなければ復興はないと思います。貯蔵施設を受け入れ、その分、町民それぞれが生きるために補償をプラスしてもらった方が良いのではと思えます。</p>	ノート
658	中間貯蔵について	<p>双葉町は先祖のお墓や土地もありますが、やむを得ないのではと思えます。こうなった以上、中間貯蔵は大熊町と双葉が良いと思えます。（最終でも可）どの町村でもいやなので、戻れない双葉町は、逆に受け入れる事を条件に代替地、住宅を確保する様に国と有利に話しあいをしてはどうか。</p>	ノート
659	中間貯蔵について一言	<p>他県が放射能のゴミ置き場に困り復興が進みません。県内でも同じです。双葉と大熊が名乗りをあげれば、とても喜ばれます。→これと引きかえに、国から代替地を有利に引き出してはどうでしょうか。</p>	ノート
660	町長について	<p>上記の件についても、町民にとっては、苦渋の決断でしょうが、広く福島県の為、または、日本国の為と考えればどうでしょうか。井戸川町長は、一個人の考えで全て反対していますが、それは、双葉町の為にも、福島県の為にも、日本の為にもならないと思います。即刻クビにして下さい。</p>	ノート
668	要望	<p>東京電力福島第一原発事故から一年半を過ぎようとしております。避難の生活は本当に毎日がストレスで体がぐたくたになっております。双葉町は警戒区域で戻ることの出来ない状態。田んぼや畑などは、手のほどこしようもないのです。それに双葉町は除染をしておるのでしょうか？私はしてられません。早く仮置場を早く決めて頂きたいと思っております。早く賠償を出してもらわなくては右にも左にも動くことが出来ません。今までの生活に戻りたいです。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
679	一時帰宅して	羽鳥の人達が一時帰宅に行って来て電話をかけてくれた。あの草が2メートルも、伸び本当におどろいて来たそうだ。家の中はネコや、ネズミの（ふん）だらけ庭には（うし）の（ふん）で自動車も、とおることが出来ず隣の家の庭に、とめて来たそうだ。そんな状態を東電の方に見て頂きたいと私は思っている。私も一時帰宅で行って来ましたが本当に除染などは、むいみだと思う。除染をした所ばかり見ないでやらない所も見て、ほしいです。	ノート
777	要望・質問 _現状の放射線量、放射能影響、補償 等	・双葉町内及び周囲町村の詳細な汚染状況を調べる。 ・上羽鳥公民館前にあるモニタリングポストの線量を公開する。何か秘密にする必要があるのか？ ・汚染の高い所を除染する。可能か？山、田、畑、つり、河川敷、家、庭・汚染水は、線量が高い山から川へ流れ込む。除染は可能か？ ・山から流れた水は田畑に入る。そこで作った米、野菜は食べられないと思うが。 ・山には、キノコ、山菜等がある。食べる事が可能か。また食べられるまで除染をするのは可能か。 ・ライフラインの復旧はいつまで完成するのか？ ・家に帰れる時期は何年先になるのか？ ・水道水は本当に「のめる」のか？ ・家、土地の補償を完全に実施する ☆未登記の家は補償できないのか？ ☆庭木等の補償は？ ☆田、畑の収穫の補償は？ ☆お墓の補償は？ ・町の復興には、病院、お店等の生活にかかせないものがある。旧双葉町には可能か？ ・子供達が生活できるのか？学校等。 ・双葉町から避難している人達への国、東電からの補償が少ないのでは？補償金・期間 ・避難者の自由をうばったのでは？	ノート
779	中間貯蔵施設について	中間貯蔵施設は最終処分場が決まっていなくて中間が最終処分場になると思う。双葉町には住めない。	ノート
798	質疑	町内の放射線量や気象条件・地形等を加味した除染計画を作る等、双葉町としての復興ビジョンはすすめているのか	ノート
813	要望（除染）	放射性物質の除染が進まなければ、その分だけ、町への帰還は遅くなる。双葉町も早く着手にしてほしい。また、場所によっては、放射性物質パーティクルの付着によるホットスポットエリアが必ずあるため、特に住居エリアは、しっかりと除染してほしい。	ノート
815	要望（中間貯蔵施設）	放射性物質を帯びたガレキ、排水等を保管する貯蔵施設は必要だ。その施設を私たちがお世話になっている。他の県、市、町、村に設置することは心が痛む。ここは、被災した私たちの地に設置することもやむなしと思う。但し、設置の優先順位は、東電敷地内（広野火力を含む1F、2F内）とし、それから、私たちの地を検討してほしい。	ノート
837	双葉町だけではなく双葉郡全体の復興を考えるべき	私の実家は毎時10マイクロあります。除染でどのくらい軽減できるのでしょうか？正直、住める環境ではないと思います。まずは、目の前の大きな課題に目を向けて欲しいです。復興はそれからではないですか？？？	ノート
858	仮の町ではなく除染につかってほしい	仮の町にお金を使うのあれば除染もしくはみんなに配ってほしい。	ノート
874	要望	本当に、放射線の心配さえなければ、年をとる迄住んでいたい町（浜通り）でした。もう目に見えない恐怖の中で子供を育てていくのは困難な為、除染は、あきらめて、少しでも市民の財源として活用できる方法を導いてほしい。	ノート
892	中間貯蔵施設について	多分、受け入れれば、最終処分場になる事は、まちがいないと思います。約束を国が守れるとは思いません。そんなものを受け入れる県があるとは思えないのです。同じ理由で、双葉や大熊が受け入れないでいけば、いつまでたっても、前へは進まないと思います。どんなにいやでも、これは、しかたのない事ではないのでしょうか。双葉には、線量の高い廃棄物が集まります。どっちにしても、双葉は倍の年月が過ぎなければ、住めない所になるのです。現実を受け入れ、その分、補償をしっかりしてもらい、そのお金で町（村？）を築きあげていこうとするほうが、いいのではないのでしょうか？ 双葉の地がどれほど豊かだったか。なぜ、このような事になってしまったのかを後世に伝えるのは私たちの務めです。新しい場所にいても双葉をおもい双葉を語り、エライ人の話は鶴呑みにするなどと語りつぎ、文章に残し、できる限りだれも同じような思いをする事がないようにしていかなければいけないと思います。	ノート
899	中間貯蔵施設について	中間貯蔵施設は受け入れざるを得ないと思います。その他の土地にソーラーパネルを設置して、太陽光発電を考えるのもいいのでは？原発を動かさなくてもいいくらいの電気、発電できませんか？これだけの事故のあとで県内の原発を動かせるなんて、まさか思っていないとは思いますが。私達がこんなにも嫌なものを、他の人達が受け入れてくれるはずもないと思うのです。最終処分場になる事も覚悟の上で、受け入れるしかないと思うのです。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
902	“思いつくままに”	原発の早期収束と町内全域の放射線除染を完全に進め、従来町に取り戻すよう創意工夫していかなければならず、その手段はなかなか頭に浮かんでこない。	ノート
1045	除染について	除染の迅速さを復興支援をもとに進められることを望んで止まない	ノート
1064	除染への課題	除染する事も一つの方法であるが除染するには何年かかるか、ばく大な費用がかかると思う。除染しても新たな放射性物質が流れて再び線量上がる、このくり返しだと思ふ。農地の表面の除染だけでは耕作出来ない。土をひっくり返しても放射性物質が下の層に移動する、山から流れてくれば作物に影響するのくり返し、除染の過程で生まれる土じょうをどう処理するかも重大な問題である。	ノート
1065	中間貯蔵施設の設置	双葉で作るしかないように思う。国内で放射能汚染が高い地域であれば仕方がないと思う。そのためには高く買い上げてもらって早く落ちついた生活を望みます。基本は賠償などをもとに、それぞれが自活する事。賠償で自分の身のふり方を考えてもらう。早くしてもらわないと何時までも前に進まない。	ノート
1084	放射能数値を調べて欲しい	放射能は目には見えないので、何処が高いか低いか分からないしもう二年になろうとしているが、3月11日のままで何一つ前に進んでいない。一日も早く除染して人が住めるのか調べてほしい。	ノート
1090	疑問_中間貯蔵施設を作られたら？	双葉町のような小さな町 警戒3区域に分けられまた中間貯蔵施設を作られたら。住める所はどの位になるのか？	ノート
1100	除染・中間施設について	除染はできるのだろうか 森林の除染は長い（時間）期間かかると思う	ノート
1109	町民除染隊の結成	前ページでも列記しましたが、一時帰宅する度に農地が草で荒れていく。いつ始まるかわからない除染、いつ帰れるかわからない故郷。町民除染隊を作って、農地、家の廻り、墓等を除染し、復興を進めてはどうか。もちろん、住居の補修等もできる範囲で進めていく。町民が故郷に帰りたいという気持ちが無くならない様に自分達の町は、自分達で帰れる様、復興を進める。避難所でボーとして待つより、身体を動かし自分の町は、自分の手で除染して行なう。労働賃金を出し、放射能被曝の管理をしっかり行なう。※除染隊は年齢制限や暑い時季を除く。	ノート
1142	早い決断を！	双葉町は・・・どうなっているのでしょうか。町は何を考えているのでしょうか。まわりの町村は着実に動いているのに・・・双葉町にはもう帰れないとわかってはいます。でも諦め切れない自分がいるのです。中間貯蔵施設に関しては、双葉町に作ったとしても止むを得ないと思っています。だって、もう住めないのですから・・・このままでは、復興が遅れるばかりです。早く決断して下さい！早期復興に向けて動いて下さい！	ノート
1168	最終処分場について	最終処分場先決めな	ノート
1183	除染について	除染はどうするの EMによって除染を。有用な微生物群。人と環境に安全 EMによる放射性セシウムメカニズム	ノート
1186	意見	中間貯蔵施設をきめる前に	ノート
1187	意見	最終処分場先決めよ	ノート
1214	放射線、除染について。	除染できる所は少しでも除染してほしい。少しずつでも良いから、自然の美しい双葉町に戻って行ってほしい。一時立入に行っても放射線が気になるので少しでもきれいにしていってほしいと思う。	ノート
1217	お墓まいりに行きたい。	お墓まいりになかなか行けないのでもう少し自由に行けるようになれば良いと思う。前は、家の近くにあったので歩いて行けたのに今は、ほとんど行けない。自由に自分の家に行けるようにしてほしい。除染をしてほしいと思う。	ノート
1247	家のかたづけ	双葉町のかたづけを少しずつできるようにしてほしい。除染をしてほしい。電気が通ってないし水も出ないので何もかたづけができない。ずっと住んできた家なのにかたづけをしたい。このままでは、家が傷んでしまうと思う。少しでもきれいにしておきたいと思う。	ノート
1305	環境について	第一に、放射能の除染（住める環境）	ノート
1329	環境について	以前の双葉町は人口規模も適度で治安上の心配をほとんどする必要がなくまた、近隣の人も親切で申し分がないと思います。ただ、元に復するととなると物理的な物は可能でも、汚染除去に対する困難さは町の内外に衆知してもらうには。	ノート
1334	進まぬ除染	除染の方法、技術、どうしたら戻れる、住める、帰れる、国会の衆議院が解散。こんな大事な時に解散するとは私達の事は忘れたのか、「対岸の火事」なのか。除染除染と言っているながら一つも進まない。やるだけやってみよ。国会議員は給与取りなのか。こんな有り様なら「もう原発はいらない」。初めての事故だからと思うが対応が遅いと思う。何もかも後回しだ。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1339	中間貯蔵施設	私は思う。中間貯蔵施設が出来ると言う（仮に）細谷地区に出来るなら30年もかかって処理する話、この細谷地区の住民の同意がなければならぬ。何様でも出来ることではない。一番先この地に住んでいた人達に相談すべき。国も県も東電も家の賠償価格、水田、畑、山林の10a当りの単価を出すべき。そしてこの細谷地区の人達の古里を売るこの気持も考えなくてはならない。並の公共事業とは異なる。これからよその地で生きて行くことを考えると涙が出る。	ノート
1349	この原発事故、日本の国で再度あったら日本の国は終りだ	絆とか結とかそんな事を言っているが避難生活をしている人達はそうではない。私は「怒」だと思ふ。原発避難して1年9ヶ月が経つ。いつ戻れる「あて」がない。線量の低い所の人達は少しずつ戻る。線量の高い浪江、双葉、大熊、富岡。何もやっていない。除染方法や技術がない。昔のことわざに「泥棒つかんで縄もぐり」が頭にうかぶ。	ノート
1358	中間貯蔵施設を考える	中間貯蔵施設について、日々新聞紙上やTVで取り上げられている。双葉町は町長が反対をしている。そんな記事を見る。しかしよく考えて見れば町長の言う事ももっともだと思ふ。絶対安全安心だと言っていた東電、津波が起因と言っているが、その津波に対しても対策がなかった。津波でこわされた原発、自然の災害とは言われまい。避難させられた町長の事を考えると頭が痛いと思ふ。避難している町民に対し細谷地区の部落民に「中間貯蔵施設を作るから細谷地区の皆さん協力して下さい」と言いますか、たとえ町長の立場でも言えない言葉だと思ふ。くわしく言えば細谷地区の皆さんはこれから30年戻れないからよそへ行ってくれと言うのと同じだと思ふ。今も戻ることが出来ない中、町長が町民に対して言いますか、つらい立場だと思ひます。中間貯蔵施設を作れば作ったでまた30年も戻れない事を考えれば町長一人が頭を下げて「はい、いいです」と言えないと思ひます。また、この施設を作ればこの施設周辺から苦情が出ます。誰しも戻りたいとの気持は同じです。長くなればなる程、町の再生はむずかしくなります。それらを考えれば町長の考えは町の代表者としてもっともだと思ひます。それよりも細谷地区へ国や東電が出向き、中間貯蔵施設を作りたいので細谷地区の皆さん方は〇〇〇万円と価格を示して国や東電が頭を下げてお願いするのが当たり前と考えます。	ノート
1359	あまりにも進まない除染	国は汚染された避難地域の住民の帰還を早くするような話をする割には汚染作業が進まない。そして東電は賠償打ち切りの話も出る。避難住民は避難先でいろいろな不安を身に受ける。いつ戻れるのか帰れるのか分からない日々を送る。一日も早く学校、役場など公共施設の除染を進め線量を下げ、戻れる先々を見えるようにしてほしい。子供がいなければ双葉の将来はない。学校（小中高）もいらなくなってしまう。どうしたら一人でも多くの住民が戻ってくれるのか。安心して暮らせるのか、いつまでこうしているのか。	ノート
1360	民報12/19（富岡町での話）	中間貯蔵施設の用地、国は買上げしないと云う。誰が、地主が納得する。汚染されたガレキを30年もかかって処理する。この土地を買わずに借りるような事を言う。国も「所有権」を買取らないで最後に不安な土地を返されてもその土地は汚染が残る不安だ。こんな考えでは双葉町長の言う事は当然である。中間貯蔵施設、周辺の人も納得出来ない。こんな事では話が前に進まない。	ノート
1364	双葉町について	今、現在の心境は「あきらめ」絶望とは言わずとも、もう双葉町に未来はないと思ひています。重度に汚染した町、この美しい自然にみちた土地を完全な形で除染しなければ戻れない。戻るためには汚染した物や土砂を中間貯蔵施設に保管しなければならぬのにわが町は拒否している！だれがこの汚染した物や土砂を、汚染もしていないきれいな土地の自治体が受入れるんでしょうか。あり得ない話です。双葉町は原発を誘致した以上最後まできちんと責任を果たさなければならぬと思ひます。また、そうしなければ国民からひんしゆくを買うのではないのでしょうか。それと、今後約30年かけ廃炉をする。その際に出る膨大な放射性廃棄物がまたまた発生するのである。その保管にどれだけの土地が必要になるか考えなければならぬと思ひます。言いたくはないですが「汚染したゴミの町双葉町」それが現実です。そんな町に戻って未来など考えられないし生活が出来ないと思ふ。どうでしょう、汚染した土地に巨額の費用をかけて除染するよりそのお金で移転を促したほうがよいのではないのでしょうか。十分な補償と賠償金によってそれぞれが自立出来るように国がしっかりと取り組んでくれるよう希望します。	ノート
1373	中間貯蔵施設	双葉町内につくっても良いと思ふ。中間ではなく最終処理施設になると思ふが・・・	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1381	町づくりについて	町を作ると言ってもまず除染が先だろうと思うが目に見えない放射線は、森林や田、畑にも及んで大変な事と考える。とすれば、適当な土地があれば新しい町づくりも良いけれど理想通りにはいかないだろう。仮の町は無くて役場をしっかりと機能してもらえば別々の土地でも成り立つのではないか・・・町民のより所となっている役場だから大切です。私の場合役場から送られる情報が唯一の救いです。離れていると細かい情報は一切分かりませんが職を得ている者は、結局その土地に落ち着くことになってしまうと思う。	ノート
1387	除染土について	除染土は双葉町のだけ受け入れたらよい。反対していても進まない。住めないのであれば双葉町をそっくり国が買い上げて、代替地がほしいくらい。	ノート
1449	中間貯蔵施設	軒下を貸して、母屋を取られるようなことはしたくない (中間貯蔵施設はいらない)	ノート
1468	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設について、知事は現地の調査を受け入れに対しG0サインを出しました。建設容認ではないと言っています。出席しなければ、話合うこともできません。やっぱり出席した方が良かったのではないかと 思っています。 やはり、中間貯蔵施設が進まないで復興は3・11のままではないで しょうか。いろいろな問題はあるでしょうが。	ノート
1503	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設の受け入れは原発立地町として受け入れなければならない と思う。	ノート
1510	町長さんへ 復興への思い	一言、私の常に思っていることを述べさせていただきたいと思います。 去る、平成23年3月11日午前2時46分、宮城県牡鹿半島東130 km深さ約24kmを震源とする巨大地震は約6分間続きマグニチュード9 の未曾有の大震災が発生し、町民の皆さま、先祖伝来の墓などたくさん の住宅家屋、田畑までも流出し、町内の家屋は倒壊し居住することもで きなく死の町と化した双葉町。そして、町民の皆さまが全国各地に避難 され、そして多くの死亡された方々の家族の皆さま、苦しい生活をしな ければならない事は真実に悲しみに耐えられません。 伝統ある文化の町、教育の町、農業、林業、そして商工業に豊かな平和 な町として、病院、医院、歯科医院と、衛生に完備された。健康の町、 すばらしい双葉町でしたのに、一瞬の大災害に遭い、返す返すも心痛の 思いであります。この天災そして人災により誰一人住むことの出来な い。私ども先祖伝来繁栄した町にいつ帰れるのか、不安な日々を過ごし ております。 この時にあたり、東京電力株式会社、国、政府、そして、県と御協力く ださいまして、一時も早々放射線を除染してくださいまして、不安で心 配のない安全な故郷へ帰り、双葉町全町民の皆さま一体となり復興し、 昔の町を蘇らせ、楽しい、そして幸福に、老人も若い人も子ども達も豊 かな生活になって貰いたいと思います。 先祖伝来の墓地を守り、永遠に子々孫々までも後継者が存続し繁栄する 事を祈願いたしたいと思います。どうか井戸川町長さん始め、町議会の 皆さま、そして、町職員の民様が一致いたされまして、県そして政府、 東電の方々に一時も早く放射能を完全に除染する事を御願い申し上げる 次第であります。重ねて宜しく御指導の程、お願申し上げます。 双葉町全町民の幸福と共に双葉町の益々の繁栄を祈願致しまして、重ね て御願い申し上げます。 最後に私達避難されおる皆さまの為に役場職員の皆さまに、社会福祉 の先生方始め、日夜お世話くださいます仮設住宅の会長さん副会長さん 事務いたされまます皆様方に御厚情賜ります事を感謝いたしますと共に、 心より御礼申し上げます次第であります。 今後共宜しくお願申し上げます。	ノート
1545	復興への思い・除染	・除染はできるのか（山林や田畑） ・中途半端な除染は意味がない	ノート
1546	復興への思い・中間貯 蔵施設	・中間貯蔵施設がなければ、除染ができないのでは？他の町村の中間貯 蔵施設設置にはあまり賛成はできないが、双葉町からでたものの中 間貯蔵施設ならしかたがないかなあ	ノート
1634	中間貯蔵施設の受け入 れとその手当を希望	一時帰宅のたびに帰れないな。 娘をつれては帰れない。 毎回同じ思いになります。 家を建てて10年まだローンも残っていますが帰れない。 どうせ帰れないのなら、中間貯蔵施設を双葉町に造って、全国の放射能 のゴミを処理する。その代わりに、双葉住民には一生生活できるぐらい の手当てを、代替地、家、就職等。 全部失ったのですから。	ノート
1635	中間貯蔵施設の受け入 れとその手当を希望	中間貯蔵施設を建てて双葉町でもらえるお金は町民に分ける。 新しい土地で再建するための資金にした方がよいと思います。 以前の双葉町には戻れないのですから。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1643	中間貯蔵施設について	中間貯蔵の設置を反対していたら、除染も進まないし、腹立つ。もうどうせ、町になんか帰れない(汚染された所に帰りたくない)のだから、どんどん設置して、前に進んでほしい。いつまでたっても賠償してもらえないと、生活成り立たないんですけど！！	ノート
1656	放射能について	原発事故により、地表にまんべんなくまかれ、今も出続けています。今後の生活について、また除染について大きな不安を持っています。	ノート
1658	除染について	線量の高い場所に囲まれた自分の下条地区は、中間貯蔵に近く絶対に生活できないので、生活の再建の為十分な賠償金をもらいたい。	ノート
1659	除染について	除染は20ミリシーベルトまでしかやらないのでは帰る事が出来ない。全町内が1ミリシーベルトになるまで行かない。それから帰町宣言をしてほしい。でも私は死んでいると思う。	ノート
1662	放射能の不安	放射能は除染によって住めるようになるのだろうか。	ノート
1672	農業は再生できるのか	水田の水は大柿ダムから来る。 大丈夫か？ 米は買う人がいるのか？ 野菜は売れるのか？ 山林の除染は可能なのか？ 我々農業の仕事は双葉町でなければできないのではないかな？ ？マークだらけの環境で先が見えない。 生活も農業もできるのは、放射能のない土地へ町移動ではないのだろうか。	ノート
1686	除染、中間貯蔵施設について	まず中間貯蔵施設を早く作らないと除染は進まないでしょうが、福島県内の除染した物をみんな双葉郡の方へと言うのはおかしいと思う。市、町でそれぞれ自分の所の施設を作ってそこへ入れるようにすればいいと思いますが、なぜ双葉郡だけでしょうか。	ノート
1701	中間貯蔵施設について	中間貯蔵施設の件での、町長の会議不参加で、抵抗したのは評価したい。 今の日本の沖縄でのアメリカ軍基地のように、一回良しとなればなかなか撤退しにくい状況になってしまうと思うからである。双葉に戻りたいとなれば、その部分を慎重にしなければならないと考える。 また、中間貯蔵施設ができて戻れないとなれば、町機能をどうするかを考えていかなければならないのではないかな。 それぞれの生活が始まってしまっているのだから…。	ノート
1731	放射能への心配	除染してもらっても、雨が降って山の方から放射能で汚染された水が流れてきて、また汚染される事はないのだろうか。	ノート
1736	除染について	除染は長い年月をかけ徹底的に行う。 5~10年間単位で除染効果をチェックする。 平常に住める線量までねばり強く取むべき。 最初から除染効果うんぬんより早々に取り組むべき。結果をみて国と協議すべき。	ノート
1742	除染について	除染を一刻も早く取り組むことが今最も大切である。 将来の帰還に向け住宅の修繕を可能とするには除染にかかっている。 除染と併行してインフラ再復旧を進めていくべきである。 とにかく机上論でない今出来ることを早く進めてほしい。帰還をあきらめ切れない人達の為に。年間20ミリシーベルト以下にならなければ帰らないとすれば直一尺1ミリシーベルトに近づけるよう早く除染に手を付けるべきと思います。	ノート
1744	中間貯蔵施設について	設置場所を国から提示され事前現地調査でも町が認めたということは、当初から建設ありきと考えざるを得ない。今の状況では30年間保管の話も当てにならない。汚染物の処理は全国各地で置き場所が無く、住民運動の反動で宙に浮いているが、双葉町で受けざるを得ないとすれば、その周辺は10キロ単位で国直轄管理地として買上すべきと思う。 どれを取っても国と地元とどの辺りで折合を付けるかであるが、その過程は先ず透明性が第一条件と思う。	ノート
1745	中間貯蔵施設について	建設されれば双葉町の人口は1/3程度に減少するのではないかな。しかも高齢者を主体に。隣接町村合併も十分に視野に入れるべき。 町として成り立つのか疑問ではあるが、何年先頃に双葉町がどのような形で復興再生させるのか早くビジョンを示すべき。	ノート
1752	中間貯蔵施設のこと	中間貯蔵施設を町外にと拒否したところで、とにかく山林が多くを占める双葉町で一朝一夕に放射線量が下がるとは思えません。(除染も不可能です) 原発立地町としてこれまで多くの恩恵を受けながら、マイナス面は拒否するわけにはいかないかな、と考えます。町外に施設を作る良い方法があれば別ですが。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1802	復興策定の方向性 その2	中間貯蔵施設が本町に予定されているが、このような場合の意見も変わって行く。	ノート
1835	今の双葉町の動きは？	<p>時々疑問に思うが、今双葉町ではどのような取組みがされているのだろう。また、今後どうすべきだと考えているのか。仮の町づくりが優先か、双葉の整備、除染なのか。</p> <p>双葉町 →仮の町づくり優先 ○人をキープ、コミュニティが作れる ×場所の大きさ、仕事の関係で</p> <p>→元々の双葉の整備、除染優先 ○元々の双葉での再開の準備ができる ×将来本当に健康被害はないのか、どれくらいの人に戻ってくるのか</p> <p>何を始めるの？それかもうやってるの？ そう思っている人多いはず。</p>	ノート

【インターネット会議からの意見①（各会議意見へのコメント）】

※「コメント」とは、各会議会場の発言として専用ホームページ上に掲載された意見に対して、インターネットを通じて投稿された市民の意見・提案のこと。
 ※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議 (対象会場)
1009	中間貯蔵施設	中間貯蔵施設は必要。無ければ除染ができない。(双葉町の分についてだけの話)		04加須
1009	コメント1	私もそう思う。どうせ簡単には戻れないのであれば、中間貯蔵施設とやらを作らせて、そのぶん交付金なり貰った方が良いと思うが...		04加須
1518	土地は売らずに貸す	土地の借上げによる中間、最終処分場の建設。売ってはダメ。お金はずっと入ってくるような仕組みに。大金はすぐに消えてしまう。	2	06郡山
1518	コメント1	売ったら最後。国と東電に自分の土地を好き放題にされることは納得できません。	1	06郡山
1668	放射能	放射能やストロンチウムを除去する装置がほしい。		06郡山
1668	コメント1	ないと思う。		06郡山

【インターネット会議からの意見②（HP上の意見及びコメント）】

※「HP上の意見・コメント」とは、専用ホームページに登録し、ホームページ上で投稿された町民の意見・提案のこと。

※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
2	除染	除染しても何年かは戻れね～な。 除染っていても全部やる訳じゃね～しな。		HP
7	除染は何処まで実施するの？	双葉郡の広大な面積をくまなく調査し線量マップが必要！ 半径100mのポイントごとの線量情報を作って頂かないと本当に安全な地域か分からないのでデータを出してほしい。 線量が居住可能な線量だから安全とは言い切れない！ 垣根越しに高い地域はあると思う。 国のデータでは納得できない。	3	HP
7	コメント1	一世帯ごとの線量マップは必要だと思います。		HP
8	除染	山は基本的にやらね～な。 他の町村もやってね～し。 所詮国がやることはいい加減だからな。 本当～に除染すんだったら1mは掘り返さねっかなんね～な。 浸透してんだんだからな。		HP
11	避難区域再編の前に	これから40年の間、廃炉作業が続く第一原発周辺に戻って生活出来るのでしょうか。最近では3号機の燃料プールに鉄骨が落下する事故も発生しました。4月の初めに平野達男復興大臣が、第一原発周辺に緩衝地帯を設ける方針を出したが、その後どうなったのでしょうか。中間貯蔵施設候補地の話もあります。放射線量だけで再編をするのではなく全てを含めて再編してほしい。	2	HP
11	コメント1	賠償の事や中間貯蔵施設の問題、そして区域の再編にしても事故の加害者側が主導権を握るのは納得できません。野田総理が冷温停止を理由に収束宣言しましたがそれも納得できません。私たち被害者が納得する方法で決めて欲しいですね。		HP
20	除染	国は生活圏だけ除染して森林は除染しないとか、20ミリシーベルトから1ミリシーベルト以下への除染は困難とか言ってる様だが、双葉町の場合除染しないと5年後でも20ミリシーベルト超の場所に居住地がある人の割合が、75パーセントらしい。一律賠償、原発周辺」の緩衝地帯、中間貯蔵施設など問題も多いが、放射線量の低い居住地から除染を実行し復興に加速をつけてほしい。復興にはスピードも大切と考えます。		HP
25	復興 再建 仕事 警戒区域再編	警戒区域のまま、帰還しないままでなく、再編後に戻れるよう、瓦礫の撤去やライフラインの復旧、除染作業など、私たちの手でやりたいと願う町民がいる。 町民の復興再建のためにも、再編までの間に、同時進行させて頂きたい。これらが、できる日が来る事を願って、今は、辛抱している町民もいます。同感の方は、「イイネ！」をお願いします。	1	HP
25	コメント1	汚染させたのは 東電と国だから なんて自分たちでやらなきゃって気持ちになるんだか		HP
25	コメント2	自分はその時の為に重機の資格を取りました。果たして役に立つか疑問ですが？	1	HP
25	コメント3	あまっちゃん、必ず、役に立つ日が来ると思います。この日のために、準備をしている町民も、多数いるのは事実です。		HP
25	コメント4	双葉の貧乏人さん、ここに、コメントしているということは、少しでも、希望をもったこともあるのでは？国や東電がと言っても、人間が集まって作ったもの、結局は、人間の手で、やるしかないんですよ。私たちは、分かっているから、まだか、まだかと、町長の号令を待っているんです。		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
26	意見を眺めていて感じること、。。	<p>やはり皆さんの意見を見ていると、県内避難者と県外避難者では意識が大きく違うように思います。例えば同じ「復興」という言葉に関しても、県内避難者にとっては、おそらくいつか双葉に帰ることを指すでしょうし、県外避難者にとっては、新たな安全な町、共同体を示すことが多いかと思われます。ですから、難しい問題ですが、ここを避け続けて話を進めて行くと、必ず捻れていくような気がします。</p> <p>除染に関してもそうでしょう。はやく除染して元通りにして欲しいというのは誰もが思うことと思いますが、その効果については限りがあることが分かって来ているので、その判断によって是非が分かれるでしょう。</p> <p>また生き方について、自分達の進む方向について、国や県や誰かに決めてもらうことによって自分の行き先を決めるといふ人と、行き先は自分で決めるといふ人がいるでしょう。どちらがどうだと言いたいわけではないのですが、前者だと、国が安全だ、帰れると言えれば帰るといふことになるでしょう。これは多くの人々の事故前の原発に対する意識と一致するでしょう。これまでの延長上に私たちの町の未来はあるのか、ないのかという話だと思います。</p>	1	HP
48	賠償と中間貯蔵庫	<p>区域編成を受け入れる代わりに町民一律賠償を確実にすることが大切である。名目声明でなく確固たる確約をするまで、応じない態度が必要である。</p> <p>中間貯蔵施設は先の賠償問題とは、別問題である。その施設を受け入れるなら政府がいう別の補償金が必要で、具体的金額を聞く必要がある。具体的金額の提示後に調査が始まるの事が常識である。それ以前の調査には応じられない。</p>	2	HP
54	個人復興に条件関する提案 1	<p>個人の復興は、当然ながら東電による十分なる賠償である。これから最大の賠償とされる財物賠償である。</p> <p>当初政府は、自治体が解除時期を『5年間帰らず』とするならば、町民の賠償の割合は、全損扱いと報道していた。</p> <p>また最近の紛争審査会の見解も放射線量が低い場合でも、隣接する地域の放射線量が高い場合（まだらな地域）は、財物の全損扱い和解を東電に促している。これに付随して他の賠償項目も5年間一律賠償を実施される。</p> <p>このようなことから、町長や町会議員の考え方を一つに持ち一刻も早い現実味のある賠償金を町民全体に通知できれば、個人の復興が見えてくる。</p> <p>双葉町は少なくとも上記条件に値する為、町一丸となって権利をもっと強く主張しなければならぬ。</p> <p>中間貯蔵庫に関してはこれらとは別の問題であり、別項目により議論する必要がある。</p> <p>これらのことが、町民が納得できれば双葉町の将来像に信頼感がより生まれてくる。よって双葉町の真の復興再生工程が現実になる。</p>		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
59	町長に問う	<p>避難生活から早約1年7ヶ月たちいまだ双葉町の将来像が見えない。特に次の事を問いたい。</p> <p>1. まだ財物の賠償がはっきりしない。この補償は町民の生活再生を左右する。 町の国に対する交渉により、賠償金額が変わってくる。言うまでもなく区域編成による賠償金額の違いである。現在一律賠償を訴えているが、これが現実になるまで町は国の言い分を受け入れないでほしい。</p> <p>2. 中間貯蔵施設の現実味 確かに施設建設は町民の殆どが望まないだろう。しかし、受け入れ条件が町民に有利であれば、考える余地があるかもしれない。 やはり十分な追加補償である。町民が納得いく補償金額が求められる。金額は一個人では言及できないが、おおよそ一人につき1億くらいが想像できる。</p> <p>3. 仮の町 当然ながら希望する。しかし、問題が確かに多いが。解決策がないとは言いきれない。これから検証の必要性があり、時間をかけ臨むべきである。 ただいえることは、行政のためが一番ではなく町民のためが一番と言う思考で思ってもらいたい。そうすれば町民は双葉町および町長に賛同する。</p> <p>以上、簡単な質問だが、ぜひとも現実味のある分かりやすい真意・言葉で町長から町民に発してもらいたい。</p>	1	HP
60	町議員に問う	<p>『町長に問う』という提案項目と同様、町議員にも同じことを考えてもらいたい。その上町長と協力的に進め、将来性のある双葉町を作ってもらいたい。</p> <p>個人感情は、第二の問題。第一が町民を優先させる考えを持ってもらいたい。なぜ、このような内容を投稿するかというと、町民は上記内容について同じ考えをしている。また町長と町議員の関係を良好と思っていない人が多いからである。</p>		HP
60	コメント1	町政懇談会でどうぞ		HP
63	本当にどんな未来があるのだろうか？	<p>時間が経過していく中で、今回の東電事故問題が解決されていくように報道されていくが、本当に町民が思う未来があるのだろうか。</p> <p>賠償問題、中間貯蔵施設、除染、そして帰還。 その後の町民は、以前暮らしていたもの（物質、精神的なもの）を取り戻せるのか？一つ一つ解決の検証を試みる必要があると思われる。そうすれば少なくとも点が線につながって糸口が見えてくる。</p> <p>まず賠償について。 区域編成を強制的にされ、賠償金の不十分な支払いの可能性。80%</p> <p>第二 中間貯蔵庫 中間貯蔵庫施設建設による不十分な賠償金の可能性。70% 中間貯蔵庫施設の異様な景観の可能性。100% 中間貯蔵庫施設の使用による不安の可能性。100%</p> <p>第三に除染 不可能に近い完全除染の可能性。100% 家の除染の可能性。30% 庭木の除染の可能性。25% その他雑地の除染の可能性。10% 山、木、河川の除染の可能性。5%</p> <p>その他上記項目以外に数え切れないほどある。少なくとも上記項目の解決策がなければ、帰還することは『到底出来ない』という結論に至る。 これは、現実なものであり、単なる論評ではない。 町にぜひとも解決策を講じてもらいたい。町民も協力するだろう。 私は、信じたい。</p>	2	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
63	コメント1	私も、協力したいが、町から、前向きな方針をだしてもらいたいですよね。	3	HP
66	東京電力に対する要望	<p>東京電力は、福島県の復興支援のため、2013年4月から、全社員およそ3万8,000人を福島県へ順次派遣し、年間延べ10万人態勢で支援に臨む方針を検討しているようだ。</p> <p>それ自体は歓迎する、しかし福島第一原発の現状を見ると事故当初は低姿勢だったものの、今は事故前のような東電体質が既にはびこっている、地元の東電社員にはあまり感じられないが、応援でやってくる東電社員に強く感じられる、要するに他人事なのだろう。廃炉に向けた原発の後始末も大事だが、我々の住む町を汚してしまったことに対する対応が屋根の養生だけということに苛立ちを感じます。私が要望するのは、帰還優先の後除染では誰も帰りたくないのは当たり前です、除染が優先の後に帰還じゃないでしょうか。その除染も東電が率先して私たちの要望を受け入れ実施すべきです。そのための増員派遣ならば歓迎します。</p>	3	HP
66	コメント1	東京電力に期待します、社員用の仮設住宅（避難者仕様）を整備し、腰を据えて取り組んでほしいです。	1	HP
66	コメント2	同感です。東京電力何を考えている。時間がたつと加害者意識が薄れてくる。少なくとも我々の意見を永遠に訴える必要がある。東電の姿勢には賛成できない。	1	HP
66	コメント3	国も東電も口先だけは謝罪を述べていますが全く私たちには伝わらないし、賠償にしても国が東電を守るような指針にしか思えません。せめて行動だけは加害者としての誠意を示してほしいものです。		HP
66	コメント4	賠償wwwスレ違い。		HP
83	仮の町じゃなくて本当の町を	<p>双葉町は帰れないぞ、何十年かは な～そ～だろ～。</p> <p>町民にいくら線量浴びせるんだっての話だ。</p> <p>除染なんかやっても無駄。</p> <p>帰ることを考えないで、新しい町を造っていくことを提案する。</p> <p>双葉町の行政が、国と踏み込んだところまできちんと話し合いをしろよ。</p> <p>除染は無駄で無駄な金を使うな。</p>	4	HP
93	最近報道の中間貯蔵施設について	<p>『8町村と協議再開へ 中間貯蔵施設の調査受け入れの協議再開を固めた。』と報じているが、これについて何回か投稿しているが、今回の件に関して政府の考え方に誰もが矛盾を感じていると思う。</p> <p>その上で町に提案したい。このことは町の復興に重要なことと思われまます。</p> <p>まず協議をする前に少なくとも次のことを政府に要求してもらいたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 最終処分場が決まった時点で話し合う。 2 賠償上乘せの具体的金額。 3 中間貯蔵施設の安全性（例として 周辺緩衝区域の設定など） 4 中間貯蔵施設建設の決定ではなく、あくまでも調査であること。 <p>不足列記項目はかなりあるが、復興のため慎重に進め、以上のことを提案します。</p>	1	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
98	帰還への要望	<p>一時帰宅のたびに自分の家、庭、田畑が朽ち果て、益々荒廃する現実 に自分一人では何もできない悲しみや悔しさが増していきます。国や東電 主体の賠償や除染にも納得できないことばかりですが、自分は双葉町に 帰還する夢はまだ諦めてはいません。ただし、帰還には条件があります ので以下に述べます。</p> <p>雇用と環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋敷周りや田畑の草刈をして、荒廃を防止したい ・除染は町民や双葉町が主体になり実施計画を立て国や東電が責任を もって行う。 <p>町民が除染を行う場合、危険手当もしくは給料を国が支払い、雇用の確 保をする。（現状は国から依頼された警戒区域の除染作業員には原発から の距離や線量に応じて最高1万円/日、支払われている）</p> <p>居住と賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフラインを早期復旧して、希望者には家屋の修復と自由に帰還で きるようにする。 <p>賠償方式は現行の精神的損害一人10万/月が良いが、帰還困難、居住制 限、早期帰宅準備区別せず一律双葉町の線量が事故前に戻るまで、もし くは原発廃炉が終了するまでとし、帰還する人しない人すべての町民に 支払う事。</p> <p>かなり個人的で一方向的な考え方もかもしれませんが、とにかく「双葉町を 知らない国や東電、除染作業員に何ができるのだろうか？」という思い で書かせていただきました。</p>	2	HP
98	コメント1	<p>除染作業は1日最高で一万円本当ですか？</p>		HP
98	コメント2	<p>本当です、国から依頼された警戒区域の除染に限り線量や原発からの距 離に応じて最高一万円/日の危険手当が支払われています、一日です よ……。しかし除染を請け負う一部の会社が除染業者に危険手当を 支払っていない事が発覚し県内のニュースにも取り上げられました。も う一つついでですが福島第一原発の復旧作業に関わっている人たちには 国からの危険手当は支払われていません。協力会社の人や他県から仕事 を求めてくる人たちは当然安い給料、危険な原発で全面マスクを着け重 労働、東電の厳しい制約を受けながら働くよりも割のいい国の除染作業 の方がいいと転職する人も増えています。除染や復興の協力はありがた いことですが、双葉町を金目当てとして捉えられるのが辛く自分でやり たいこととして提案させてもらいました。</p>		HP
98	コメント3	<p>おっしゃる通り、故郷が荒廃していくのは見ていてとても耐え難い物が あります。せめて荒れ果てるのは避けて欲しいというのが痛切な思いで す。しかし現実としてチェルノブイリでは町がどうなったのか知るべき です。あまりにも線量が高すぎて悲しい最後を遂げました。3年後、5 0年後でもかまいません。帰るにしてもそれまでどこに住んでどんな人 生を送るのか誰かがやってくれるのを待っていても何も起きませんか ら。</p>	2	HP
98	コメント4	<p>残りの人生と現在の双葉町の線量から被曝に対する影響のリスクを何度 も考え、私と妻はいずれ近いうち自宅に帰ることを選択しました。子供 たちが自立するまでは妻が放射能の影響のないところで育てる計画で す。私は自分が望む生き方で人生を全うしたいし、いつの日か子供達や 子孫が双葉町での生活をしたかった時に住める環境を作っておきたい のが希望です。</p>	1	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
100	中間貯蔵建設予定計画の協議について	町長の欠席の行動を分析すると私は、次のように考える。 最初から話が決まっていたのではなからうか？そんな不自然の話し合いに出席する必要はないと判断したかもしれない。 その理由としていかなる中間貯蔵に関する話については、最終処分場、賠償の上乗せなどの話が先に論じられるべきである。これらのことが無視されている。 このように考えると、今回の話し合いは、賛成の協議が進められていると推測した。 つまり求めることは、町長に「考え、計画、構想」があるのならもっと町民に強く発信してもらいたい。町民の1人として、町長に将来を託しているからこそその発言である。	2	HP
100	コメント1	私もそう思います		HP
101	中間貯蔵調査受け入れの思い	東京電力福島第1原発事故の除染で出た廃棄物を保管する中間貯蔵施設の現地調査受け入れが決まった28日、調査候補地の住民からは「ふるさとへ帰るため、除染には必要な施設」と理解を示す意見がある一方、「建設ありきで進んでいるのでは」と疑問を抱く声が上がった。調査候補地や受け入れの過程が住民不在のまま進んでいることに対し、行政を批判する声もあり、住民の複雑な心境がうかがえる。 こんな記事があった。残念でしょうがない。また双葉の町長に町村会の会長辞任を求めている記事も見た。双葉郡の全町民に聞きたい。これでいいのだろうか。 中間貯蔵は、未来に強烈に我々に影響するものだと思う。だからこそもっと話し合うべきではないのだろうか？双葉町長の行動は多少偏屈のところもあるが、基本的に間違っていないように思える。町長を支える人々、この大事な時にしっかりとサポートしてください。一丸となって応援したい。 より良い双葉郡の将来を見たい。	2	HP
101	コメント1	セシウム半減期は約30年でトリチウムが約12年、何故半減期と中間貯蔵の期間30年が同じなのだろう疑問である、国は中間貯蔵施設をそのまま最終保管場所にしようとしているのではないだろうか、可能性は大であり、帰還するための大きな弊害と自分は考えています。	2	HP
101	コメント2	建設的な公式コメント聞きたいですね。	1	HP
101	コメント3	原発ありきで作られた結果が今回の事故に繋がった。そしてまた中間貯蔵施設の建設ありきで何の施策もないまま国は双葉町に作ろうとしているが、30年もほったらかしにする理由はなんなのだろう。国や東電はもろんのこと、頭の良い学者や専門家は何をやっているのだろう。海外の原発開発なんかには逃げないで、中間貯蔵されたものの処分方法でも開発して5年でも10年でも短縮してほしいものです。欠席したことに疑問はありますが、基本的に私は井戸川町長の考えを支持しています。だから町会議員や町職員の方たちがサポートしてもらいたいと思っています。		HP
101	コメント4	確かに町長の発言、思いは間違っていないと思う。原発被災者皆同じ気持ちだと思います。ただ現実を見て下さい。あれだけの汚染状況、どう考えても人間が住めるような所ではありません。除染も無理だと思います。私は中間貯蔵を受け入れるしか無いと思います。歩み寄りや妥協が必要だと思います。町長が欠席するのは理解出来ない。		HP
101	コメント5	就業や福祉の話題は？		HP
102	中間貯蔵施設？	町長さんが会議に欠席したのも一つの手段なのかな？と最初は思いました。 でも欠席しても知事の決断で決まってしまうのですね町長が同意しなくても進んでいくのでしょうか？ 中間貯蔵施設の丸い線を見ると私の自宅はどうなってしまうのだろうと不安です。 補償は？一時帰宅は？何の連絡もないまま調査が始まるのでしょうかもう一つ町長さんのあいさつのページに町長さんの思いや考えを載せてもらえたらいいと思います。	1	HP
102	コメント1	ユーチューブなどの動画サイトに井戸川町長の思いや考えを述べたのが出ていますのでそれを見られたらどうでしょう。他の町の町長よりしっかりした考えを持っていると失礼ながら自分は思っています。だからこそ欠席せずに思いをぶつけて欲しかったし、町村会長が務まるのは井戸川町長しかいないとも思っています。	1	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
102	コメント2	〇〇さんありがとうございます。見てみます。双葉町のドキュメント映画の中で、国の会議で挨拶だけして退席する大臣を悔しそうに見送るシーンがありました。あのような中で頑張ってくれているのだと思いました		HP
107	中間貯蔵施設の現地調査に係る質問事項を読んで思う。	<p>内容を見ると、双葉町の質問に対して東電の回答が十分ではないことが誰でもわかる。この時点でこの件について協議することは、難しいと判断するのは賢明に違いない。</p> <p>この内容は先日の会議に出席していた県知事も見ていると思うが？</p> <p>全ての項目が大事であると思う。特に最終処分場に関しては自分も関心を持っていた事なので注意深く読んでみたが、まったく十分な回答になっていない。回答ではなく、『回答の術がない』ということが、本当の真意だろう。</p> <p>しかし、あえて町に要望したい。更なる思考力を持って、国、東電を避けるのではなく攻めて行って欲しい。頑張ってもらいたい。</p>	2	HP
107	コメント1	今大熊町のように中間貯蔵施設を受け入れ、5年間帰らない宣言をして、一律賠償を受け取ったとしても問題が先送りされるだけではないでしょうか。かえって5年後に中間貯蔵施設を受け入れたことを後悔することが危惧されます。それこそ井戸川町長が恐れていることであり慎重な議論が必要だと思えます。	2	HP
107	コメント2	賠償と中間なんたら以外に話題はないのか????		HP
114	井戸川町長辞任要求は反対	<p>井戸川町長の「中間貯蔵施設についての報告」そして会議を欠席した経緯を何度も読み返しました。全くその通りだと思います、逆に町議員が何故辞任を要求するのかが理解できません。町議員の方たちは大熊町のような案を受け入れようとしているのでしょうか？私は反対です。何の確約も取らず中間貯蔵施設を受け入れてしまったら取り返しがつかないことになってしまうくらい私でもわかります。しかも国や東電はあっさり確約を破り、質問には馬鹿にした回答しか返さないのは町長のメッセージで明らかになりました。</p> <p>凄く腹立たしく思います。「福島復興なくして日本の復興なし」あれは嘘なのか？一番の被害者である双葉町が置き去りじゃないかという思いです。</p> <p>そこで中間貯蔵施設は受け入れることを前提に私から二つの提案させていただきます。</p> <p>一つ目は中間貯蔵施設が双葉町に保管されている間、もしくは原発の廃炉が終了するまでの間精神的損害の賠償を継続する。</p> <p>二つ目は中間貯蔵施設に除染廃棄物を持ち込む行政から保管料もしくは保管税を要求し町の税込とする。</p> <p>精神的損害については区域再編で賠償を5年で打ち切るような国の案には反対、移住を決断した人、仮の町関係なく3.11の事故の被害を受けた人全てが収束するまで対象とすること。</p> <p>保管料については除染が進まないからとか、自分の町だけ元通りになれば双葉町が責任を取ればいいなんてふざけた話だ、負担は県民すべてが負うべきだと思います。</p> <p>「この二つの要求を受け入れなければ中間貯蔵施設は受け入れない」くらいの強い姿勢で要求しても良いんじゃないでしょうか。</p>	6	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
124	どうするのか双葉町	<p>目先の賠償案は、決まった。国と町が早急にすり合わせていこう。</p> <p>第二弾の賠償案要求は、中間貯蔵庫施設についてである。町長のメッセージにあるように8項目の質問状に対して国の返答は不十分と見なされる。これでは会議に挑む気持ちが薄れるのは当然であるが、各関係者には違って見えた結果になった。 これが日本の社会なのだろう。 またPDFで施設から2km人家がなくなると町長はメッセージを送っている。他町村はこれを見ていかに思うのか。静観して結果を考えてみたい。 その上で賠償案を考えていくべきだ。</p> <p>第三弾の賠償案は6年以降の賠償請求である。相当に国、東電は減額してくるだろう。危険にさらされた賠償金とは程遠くなるに違いない。ここで妥協案を考えるべきではない。本来なら町が将来の賠償も視野に入れて考えてくれると心づよい。</p> <p>話は変わるが、今月18日に町長不信任案が提出されるかもしれない。可決される可能性がある。 町長は偏屈なところもあるが、頑張っている。水面下では賠償、中間貯蔵施設について動いていた。今回の区域編成賠償案発表で町民も理解しているはずである。 私個人的に、不信任案を出さないで欲しい。町一丸で動けば双葉町の将来が見える。町長は今以上に情報を発信してもらうことを前提とする。</p>	3	HP
124	コメント1	<p>同感です。</p>	1	HP
127	井戸川町長と町議員に強く望むこと	<p>大熊町の区長会で区長たちから、最終処分場を決めないまま中間貯蔵施設を設置した場合、受け入れ先がないため移設先が決まらない沖縄・米軍普天間飛行場のように固定化されるのではないかと不安の声も。他にも住民との協議なしに候補地を発表したことへの不満や、設置期間の30年間の移住先や隣接地の扱いを示すよう求める意見などが出た。 (12/14 YAHOOニュースより)</p> <p>これが中間貯蔵施設を受け入れる決断をした町の問題であり井戸川町長の危惧していることではないだろうか、飯館村に於いても家屋の除染をした後一旦は効果があったものの、時間が経つにつれ除染前の線量に上がってしまったことも町長が昨年除染方法の問題として発信していました。</p> <p>それをふまえて町長の発言は双葉町を含む双葉郡全体として私は受け止めています、同じことを以前にも書きましたが、区域を再編して賠償に期限を設ける国の決定には絶対反対です。区域再編など必要ない国は双葉町町全体として考えるべきです。</p> <p>国は町の草刈り除染→インフラの整備→中間貯蔵施設の受け入れ方針と管理方針→原発廃炉までの方針を私たちが理解・納得できる範囲で具体的に示すべきであり、万が一中間貯蔵施設を受け入れる場合の賠償期間、廃炉になるまでの賠償期間を設けるべきだと思います。</p> <p>以上をふまえて議員の方たちは町長辞任に力を使っている場合ではない、今回は町長が議員に歩み寄る形になったと私は見っていますが、町長と議員一緒に力を合わせて国に強い姿勢で要求していただきたい。</p>	3	HP
127	コメント1	<p>まさに言われていることに同感します。 中間貯蔵施設は、最終処分場になるだろう。国の返答、行動から見ても間違いないと思う。 また、少なくとも施設より2km内は人家がないと町長が言っている。この件について国は、コメントを避けている。まさに施設を受け入れた町は、将来がないことを暗示している感じがする。 6年後の賠償、施設による賠償、施設のあり方、町民の将来など、いま話しあう必要がある時、町長、議員が手を組まなくてどうする。将来合併連合が出来る時双葉町の存在がなくなってしまう。と危惧している。</p>	2	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
127	コメント2	<p>Yoshiさんありがとうございます ここで意見や要望を書いているのは双葉町の少数の方たちかもしれませんが、真剣に双葉町の事を考えていることは必ず井戸川町長や議員の方たちにも伝わると信じています。町長も議員の方たちも目指すべきことは同じはずです。 子々孫々が双葉町を思うとき過去形の物にはしたくありません、今は不安とか悲しみの涙を流す方が多いと思います、いつか喜びの涙を流せるまで頑張らしましょう。</p>	1	HP
138	石原環境相発言	<p>石原氏の考えは、町長の考えと相似したものといえる。 重要な議題を周りの安易な意見で決めるのではなく、確固たる理由により慎重に進めること、そのような発言は当事者地域の住民として大いに歓迎される。 やはり会議に出席しなかったことで、会長職辞任、それに伴った理由で双葉町会議員による不信任案決議が結果として誤りを意味する。 中間貯蔵に関しては、将来を決める決定であり慎重に進めてもらいたい。 井戸川町長の思いもわかってほしい。</p>	1	HP
154	中間貯蔵施設建設延期の可能性	<p>ニュースメディアに報道されているように除染の不適切作業により中間貯蔵建設の遅れになる可能性がある。 井戸川町長が危惧していた一部の問題点が早々にあらわになった。 町長との談話の中で中間貯蔵施設は、基本的に反対ではないと声明している。 このような大切な物を建設に当たり慎重に進行しなければ、最終的に本当に町がなくなってしまうこと、町民が大いに損を被ってしまうことを心配していた。 その理由で政府にNOを突きつけていた。 今回の事件で少なくとも井戸川町長の言っていることが的中した。</p> <p>8項目の質問状で2項目気になっていた点がある。 1 除染は徹底的に行うとしている。 これに関しては早々に問題が露呈した。この徹底した作業の具体的な作業が明確に示していないのだから、以前から口先に過ぎないと感じていた。 2 最終処分場を他県にすることを法制化する 法制化の中には、罰則規定を盛り込んでいない。 ただの法制化では何の責任も生じない。これでは誰が責任を取るか解らなくなる。違反したら一世帯数億円の支払いをするくらいの項目を盛り込む必要がある。</p> <p>いずれにしろ疑問に思われる点は、具体的に政府が説明する必要があると考えがさらに深まった。井戸川町長を攻めるのはお門違いである。 区域賠償に関してはとりあえず全損の賠償金を手にすることは賛成するが、それ以降の年月の賠償も現段階で話す必要がある。現時点で考えることが項目である。</p> <p>総合的に見ると、中間貯蔵施設は、相当に町民に悪影響を与えるものがあるため、疑問となることが解明また具体的改善策がない限り、建設予定に向けた進行はできないと判断する。 これはまさに今回の事件により立証されたと思います。 今回は井戸川町長の考えが 『勝ち』</p>	2	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
154	コメント1	<p>一旦家屋だけ除染しても、山河からの影響で元の高い線量に戻ってしまった飯館村の例、中間貯蔵施設の受け入れを認可した大熊町に、国から住民説明の際住民の不安や質問にはほとんど答えず建設ありきの説明会。国は手段を示すが自分たちへのペナルティーが全くない、不適切な除染にしても対策は「監視を強化する」程度だ。国が責任を持って除染すると言った責任はその程度なのだろうか？国や東電には約束を守らなかった場合ペナルティー（罰則）制度を儲けるべきではないだろうか。中間貯蔵施設の受け入れと最終処分場の問題、原発廃炉までの放射能問題、除染方法の問題、これらは時間がかかってもしっかり国や東電に確約を取り、果たせなければ何らかの罰則を与えたい。</p> <p>反対に居住、雇用、賠償と期間、健康などの問題は、早く進めて双葉町民が戻れる状態になるまで継続を望みます。</p>	2	HP
154	コメント2	<p>>>今回の事件で少なくとも井戸川町長の言っていることが的中した。</p> <p>町長の懸念していた事は「現在の除染方法では完全に放射性物質を除去できない」という事であって、今回の除染作業の不適切作業の件を懸念していたのではないのでは？</p> <p>それとも以前から町長は「いずれ除染作業員は手抜き作業を始める」と言っていたのですか？</p> <p>まあ、もしそうなら素晴らしい先見性と見識ですが、残念ながら県内にいるとその素晴らしい見識を直接聞く機会が中々ありません。</p> <p>yoshiさんは直接町長と話す機会がおありのようですので是非とも町長にもっと県内に赴いて町民に自分の考えを伝えるように進言してくれませんか。</p>	1	HP
154	コメント3	<p>私も単身で県内にいます。</p> <p>加須市に電話してappointmentをとればあいてる時はいつでも会えると思います。</p>		HP
154	コメント4	<p>つまり町長に会いたければ埼玉まで行け、という事ですね。</p> <p>双葉町民が双葉町長に会う為には遠路遙々埼玉県まで行かなければいけないと。</p> <p>あれ？そういえば浪江町長は二本松市に住んでるんでしたっけ？</p> <p>大熊町長は会津若松市でしたかね…</p> <p>で、双葉町長は「埼玉県」ですか。</p> <p>それはともかく、県内には加須に行って町長と話したいと思っていてもそこまで行く手段がないお年寄りも沢山いますが、そういう人達は町長と会う事すら難しいという事になりますよね？</p> <p>それよりも町長自身が県内各地に来て会合を開いた方が、一度に多くの人が町長と会い、ご高説を賜る事が出来ると思いませんか？</p> <p>なにやら秋葉原で開かれた全体会議とやらには顔を出してるみたいですし、</p> <p>県内に来る時間を増やす事も出来ない事ではないと思うのですが。</p>	1	HP
154	コメント5	<p>『話す機会がある』と質問されたので私はこのような手段を取っていますと紹介したのですが、私の文章から『町長に会いたければ埼玉まで行け』と判断をするとしたら誤解を招いたことについて申し訳ありません。</p> <p>また町長が県内各地に来て会合することに誰も否定はしていません。</p> <p>いい事と思います。</p> <p>私は単なる町民の一人で町長にどうしろと進言する権利は持ち合わせていません。ただ双葉町に住んでいる限り、町長に質問をする権利は持っています。</p> <p>ただの批判、偏見から何もいい結果が生まれません。各人できる範囲で自由に意見を言えればいいと思います。</p> <p>町長に恨みがありそうな文章に感じましたが、君の文章を批判するつもりはありません。</p>		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
164	コメント4	再編しようがしまいが、除染をやる気になればいつでも出来るでしょう？ 今の除染では線量の低いところから行っているが、まず、高線量のところからある程度落として行かないと全体的に線量が下がらないと思います すが？区域再編は国が主導でやっているようにしか見えません。	1	HP
171	そろそろ真面目な提案 【中間貯蔵施設】	<p>双葉町住民意向調査（速報）も発表されたことですし、少し真面目に今後の双葉町の在り方などを提案してみたいと思います。</p> <p>【中間貯蔵施設】 私は中間貯蔵施設の受け入れには賛成しています。 ただ、黙って指をくわえて受け入れを賛成するのはどうかな？とも思います。 そこで提案ですが、中間貯蔵施設を受け入れる見返りに『中間貯蔵税』なる法定外普通税を課税してみたらいかがでしょうか？</p> <p>これまでの報道を精査してみますと ・汚染土の貯蔵の必要総容量は最大で2,800万立方メートル必要 ・双葉町に搬入を予定しているのは南相馬市・浪江町など9市町村 ・総容量の30%が双葉町に貯蔵される つまり840万立方メートル・・・約1,596万トンもの汚染土などが双葉町に中間貯蔵されるワケです。</p> <p>この約1,596万トンに1,500円/トン程度の課税をすれば年間で239億4000万円の税収となります。 約240億円の税収なんて一地方都市には莫大な金額で一見現実味が無いような気がしますが、ここで肝心なのが『誰が』課税対象者となるのか？ということ。 この『中間貯蔵税』の課税対象者は東京電力管内の世帯数18,625世帯で負担してもらいたいと思います。 240億円÷18,625世帯＝約1290円 となり、月額100円程度の負担にしかありません。</p> <p>我々地方の住民は確たる産業もなく「田舎だから・・・」の一言で都会の人間に蔑まれながら、それでも一生懸命首都圏へ向けて電力を送り続けてきました。ところが震災からまだ2年も経過していないのに、世間的には震災は過去のものとして扱われてようとしています。 また最大の消費者であった都市部の人間が、「原発反対！！」などと声高にデモなどを行っていることに怒りすら覚えます。</p>	2	HP
171	コメント1	訂正です。東京電力管内の世帯数は1,862万世帯です。お詫びして訂正します。		HP
171	コメント2	<p>自分も中間貯蔵施設の建設には賛成です。 今の日本で一番放射能汚染されてる所は何処か、と問われればそれは双葉町と大熊町でしょうから。 わざわざ線量の低い所に放射性廃棄物を持って行けば反感を買うのは当然でしょうし、現実的に考えても双葉町や大熊町に施設を置くのは残念な思いもありますが仕方のない事だと思います。 そもそも元町長は「30年は帰れない」と言ってたくせに中間貯蔵施設の建設に反対してたという本末転倒ぶりを発揮していたので話がこじれていましたが、 本来なら施設の建設条件等を国との交渉に使い、町民に有利な状況に持って行く必要があったと思いますし、それこそが本当の意味で「町民に損をさせない」という事ではなかったかと思えます。</p> <p>「中間貯蔵税」というのはとても良いアイデアですね。 電気料金の値上げでは震災の事は忘れ去られてしまいそうですが、「税」という名前が残る形なら風化も防げるかも知れません。</p> <p>勿論、実現には東電管内の住民の反発等、色々な問題があるでしょうけど、 こういった提案をしていく事こそが重要だと思います。</p>	2	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
171	コメント3	無意味な計算かな？ 情報によれば、中間貯蔵庫施設の見返りは『ゼロ』補償が有力。 それでも建設は賛成とは理解できない。		HP
171	コメント4	その情報のソースを出して下さいね。 議論はそれからです。		HP
171	コメント5	現実味があるか無いかは別として、いろいろな意見を出し合っていきたいと思っております。 無関心であることが風化を一番早めてしまうことだと思います。		HP
171	コメント6	まだ日本にはオンカロ（最終処分場）みたいなのが無いのを最近知りました。		HP
172	情報によれば	中間貯蔵庫施設の保証金は、ゼロとなる可能性が有力。 土地買収も安易な計算による東電賠償に上乘せされる金額とならないと言われる。 上記内容は、絶対と言わないが可能性が高い。 先の投稿者の内容とはほど遠いものとなる。 理由として考えられる事柄は、たくさんある。 安易な建設の実行は、町民を確実に苦しめる。 賛成には、町民が実利取得の根拠となる材料が少ない。		HP
172	コメント1	>>可能性が有力 >>と言われる。 >>可能性が高い。 ・・・こんな確度の低い情報で人に信用してもらおうなんて甘すぎませんか？いくら双葉町の人間が田舎者だからといってもそんな確信の無い話で納得できる人なんていやしませんよ。あなたの情報が一億歩譲って仮に正しい情報だとして、その情報を出した人がどういう立場の何者なのか書かない事には信憑性がありません。 そもそも、「補償金ゼロ＝建設反対」って極論過ぎやしませんか？普通の人には「国から補償ゼロ」と言われたら「そんなのは納得できない」と補償を出すように町を介して国と交渉をするんじゃないでしょうか。それでも解決しなければ、その時初めて「それなら建設反対だ」と言うのですが、違いますかね？それとも国が一度「補償ゼロ」と言ったら、もう何があっても覆せませんか？くしくも今回の再編成では、大筋で町の要望が取り入れられた形になりましたがね。交渉努力もしないうちから反対反対連呼して、これから前進なんて出来るんですか。 もっとも、自分は町が交渉努力をしても尚、最終的に「補償ゼロ」の結論が出て、それやむなしだと思っています。今、避難地域以外の市町村で出た放射性廃棄物の仮置き場も一杯になりつつあります。その仮置き場の問題も県内の復興の遅れの遠因になっている現状を見れば、町に永らく帰還出来ない双葉町が町として出来る復興支援は、それらの置き場所を提供する事くらいなのではないのでしょうか。 「町には帰らない」「だが貯蔵施設は建設反対」「でも金はタンマリ出せよ」我々は確かに原発事故で大変な避難生活を強いられております。これらの問題について国や東電に生活の補償を求めるのは当然の権利でしょう。ですが、いつまでも哀れな被災者面してなんの復興支援もしないおつもりでしょうか。空いた土地があるなら、復興の為にそれを有効活用するべきです。それとも他人の事なんて知った事ではありませんか？	1	HP
172	コメント2	話の焦点がわからない。 物事決めるのに事前の条件設定が必要であることは当然だろう。 協力したくてもこのままでは何もできないだろう。 君の家に黙って侵入して、後から言い訳したら君は納得するのかね。 お互いの協力に必要なことは、お互いの疑念をなくす話し合いから始まるのは当たり前の話。		HP
172	コメント3	中間貯蔵庫建設を賛成する理由をぜひ聞きたい。		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
172	コメント4	<p>そもそも中間貯蔵施設の設置場所は官地のみなのでしょうか？民地が施設にかかるようであれば土地の所有者の同意も必要でしょうか、どこからの情報なの知りませんがもう少し建設的な話し合いをしませんか？</p> <p>あと〇〇さんの以前からの発言で、出どころのわからない話がよく出てきますが、公での書き込みである以上はソースを示してもらえませんか？</p> <p>まるで信ぴょう性の無い話に誰が耳を傾けますかね？</p>	1	HP
172	コメント5	東電に賃貸で土地を貸して、家賃収入を得てはどうですか。	1	HP
172	コメント6	<p>よく考えればそうなる可能性があるだろう。</p> <p>信憑性の問題よりこれ以上不利益を被りたくないのが普通ではないのかね。</p> <p>不確実な提案より、考えておくべきことがあれば事前作業も大事ではないかな。</p> <p>また「有効な土地を差し出すこと」の発言に大いに期待する。確認をしたいね。</p>	1	HP
172	コメント7	<p>>>物事決めるのに事前の条件設定が必要であることは当然</p> <p>それを世の中では「交渉」と呼ぶんです。</p> <p>>>君の家に黙って侵入して、後から言い訳したら君は納得するのかな。</p> <p>???・・・国は黙って侵入するどころか事前に建設候補地を公表し、なおかつ現地調査の交渉もしようとしてますよね？</p> <p>それを交渉はおろか交渉の席にもつかなかったのが前町長の所業ではないですか。</p> <p>まるで国が事前の通告無しに強引に中間貯蔵施設の建設に着手しようとしているかのようなすぐにばれるような歪曲はしない方がいいですよ。</p> <p>国はあくまで町民が納得する形での解決を望んでいます。</p> <p>そうでなければ今頃既に町の承諾無しに強引に貯蔵施設の建設が始まっていますよ。</p> <p>そうした時に初めて「黙って侵入した泥棒が後から言い訳云々」と言うのです。</p> <p>>>お互いの協力に必要なことは、お互いの疑念をなくす話し合いから始まるのは当たり前の話。</p> <p>それは、国との協議を何度も欠席して交渉の席にすらつこうともせず、他の町村長から総スカンを喰らった前町長にでも言ってください。</p> <p>話し合いの席にもつかず交渉もせず、どうやってお互いの疑念を無くす事が出来るというのか…全く困った前町長ですよ。</p> <p>それから「補償ゼロ」と言ったという人物の公表もお願いします。</p> <p>まさかその辺のおっさんが言った訳ではなく、それなりの立場にある公人が責任持って発した言葉なんでしょうから、ここで名前を明かした所で問題にはならないはずですよ。</p>		HP
172	コメント8	条件設定は何？町民の納得する形とは何？		HP
172	コメント9	町民が納得する形があるなら、事前条件設定はすべきではないのかな？ぜひとも聞きたい。		HP
172	コメント10	先に交渉を提案するのは国側ではないのかな？		HP
172	コメント11	先に君が指摘したように「可能性、有力」と言う言葉は信憑性に欠けると言っておきながら、いつから「いった」と表現を変えるのかな。相手の発言に自分の感情を入れるのは話の本筋がずれるよ。		HP
172	コメント12	それより私の言ったようにはならないと何故否定しないのかな？言った人を攻めるより、問題否定の根拠を問いかけて。		HP
172	コメント13	<p>御託を並べるのは結構ですが情報源を提示することの方が先ではないでしょうか？それとも情報源を開示できない理由があるのですか？</p> <p>一部町民にだけ情報をリークしている人間がいるのだとすれば、それは大変問題だと思いますよ？</p>		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
172	コメント14	あせる必要ない。 not leak but get. もう一度言う「私の言ったようにはならないと何故否定しないのかな？ 言った人を攻めるより、問題否定の根拠を問いかけてたい」		HP
172	コメント15	このことが双葉町民に必要なだから。		HP
176	国や県に要望	中間貯蔵施設について、これから、中間貯蔵施設の調査や建設を行うのであれば、対象区域の住民を先に復興住宅に入れるようなシステムを作ってもいいのでわないでしょうか？ 福島に戻りたくても住むところがなく困っている世帯も在るので、是非、県や国に要望を提案して頂きたい。 皆が求めるものは、賠償金かもしれませんが、一方、お金じゃないシステムも、沢山、考えて下さい。	4	HP
176	コメント1	生活基盤と引き換えに調査してもよい、とか工夫して、法律には法律で対抗しないと負けてしまいそうです。	1	HP
176	コメント2	賛成します。	1	HP
181	中間貯蔵施設について	除染→インフラ復旧→帰還の流れを加速する為には、中間貯蔵施設の早期建設が必要であるという。町内にも候補地が二か所あります。町はほぼ全域が「帰宅困難区域」になる模様です。「帰宅困難区域」の除染について、環境省は「帰宅困難区域」の中で試験的に除染を行ったうえで、有効な除染方法を検討するという段階で、その試験的除染も何時から始まるか明確では有りません。石原環境大臣は記者会見で「建設地に住居があった場合は物理的な問題として家に戻ることができない人が出てくるが、致し方ないことだ」と述べています、そこに避難者に寄り添う気持ちは感じられません。仮に中間貯蔵施設を受け入れるにしても生活再建、賠償、帰還に対する支援について、住民の納得のいく国との折り合い方を新町政に求めたい。	2	HP
181	コメント1	まったく悲しい現実。	1	HP
182	中間貯蔵施設について（1）	中間貯蔵施設が最終処分場になる可能性はあり、その覚悟はいる。平成23年5月ごろ官邸では「がれきや放射能で汚染されたゴミは、原発から半径5 圏内に処分場をつくって收容するしかない」こんな議論が主流を占めており、佐藤知事に「他県では受け入れ先がありません」と最終処分場の受け入れを要望したそうですが猛反発を受け、中間貯蔵施設に最長30年間保管する案に軌道修正したようです（平成23年8月20日、朝日新聞より）。政府が「他県では受け入れ先がありません」と認めるなら、30年後の県外最終処分場などあり得ないし、単なる問題の先送りと考えるのが妥当でしょう。	2	HP
183	復興・帰還	不安に思う事がたくさんあります。 双葉町と大熊町の中間貯蔵施設候補地は、第一原発を囲むように配置計画されている、なにか意図があるのだろうか。 中間貯蔵施設の内側（原発側）はどの様になるのだろうか。 1～4号機の廃炉作業によって発生する廃棄物の処分場はどこに造るのだろうか。 東電は「必要な技術開発、制度の整備、廃棄物処理の見通しが得られていることを前提に、第3期で解体作業を行います」と廃炉措置に向けた中長期ロードマップに記している。 原発の廃棄物を他県で受け入れるとは思えず、いずれ第一原発を含めた周辺は廃棄物処分場へと化するのでしょうか。 町の復興、及び住民の帰還にとっては大きな課題ではないでしょうか。	1	HP